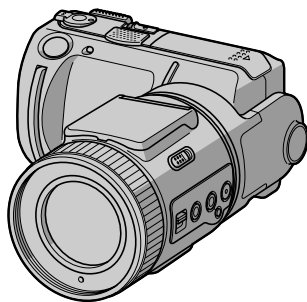
3-867-774-**01** (1)

デジタルスチルカメラ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DSC-F505K

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影されていることを確認してください。
撮影内容の補償はできません。
万一、カメラなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、撮影内容の補償については、ご容赦ください。

画像の互換性について

本機で“メモリースティック”に記録された静止画像ファイルは、日本電子工業振興会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900、DSC-D700）で記録された静止画像は本機では再生できません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

モジュレーション　トランスファー　ファンクション　ファクター
* Modulation Transfer Function/Factorの略。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- PC-98シリーズは、日本電気株式会社の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

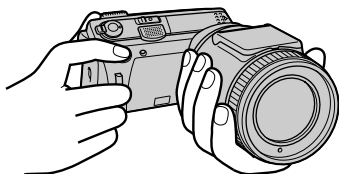
目次

お使いになる前に

本機は“ メモリースティック ”を記録メディアとして使用するデジタルスチルカメラです。

本機に振動や衝撃を与えないでください!

誤作動や画像が記録できなくなることがあるだけでなく、“ メモリースティック ”が使えなくなったり、撮影済みの画像データが破損することがあります。

ご注意
左手でレンズ部をしっかりと支えてください。
右手で本体を軽く持ち、LCDを見やすい角度に調節します。

液晶画面およびレンズについて

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られています。
黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがありますが、故障ではありません(有効画素99.99%以上)。これらの点は記録されません。液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

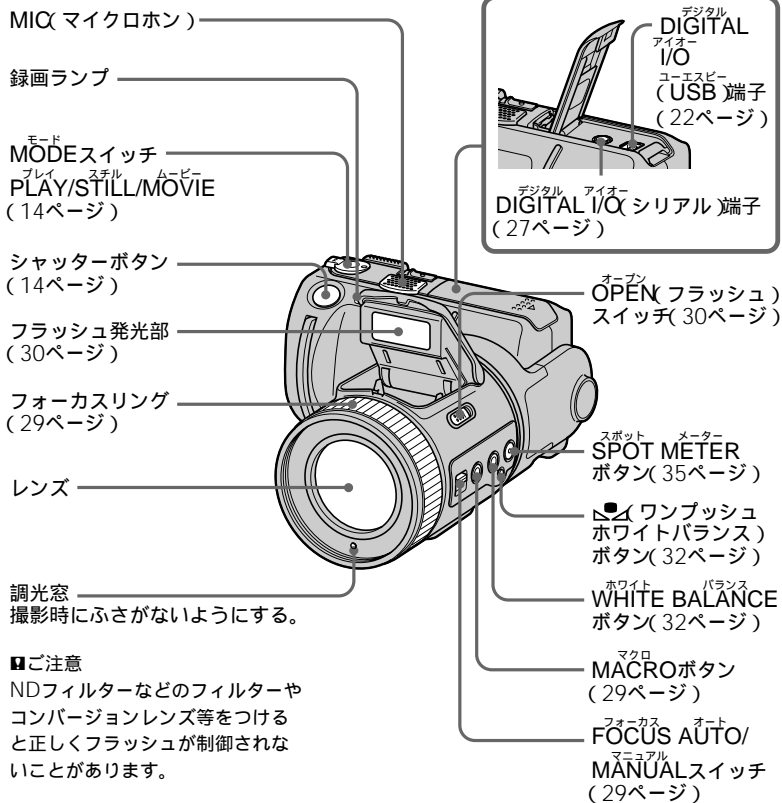
湿気にご注意ください!

雨の日など屋外での撮影時は本機を濡らさないようご注意ください。
結露が起きたときは58ページの記載に従って結露を取り除いてからご使用ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

各部のなまえ

（　）内のページに詳しい説明があります。

ご注意

NDフィルターなどのフィルターやコンバージョンレンズ等をつけると正しくフラッシュが制御されないことがあります。

各部のなまえ(つづき)

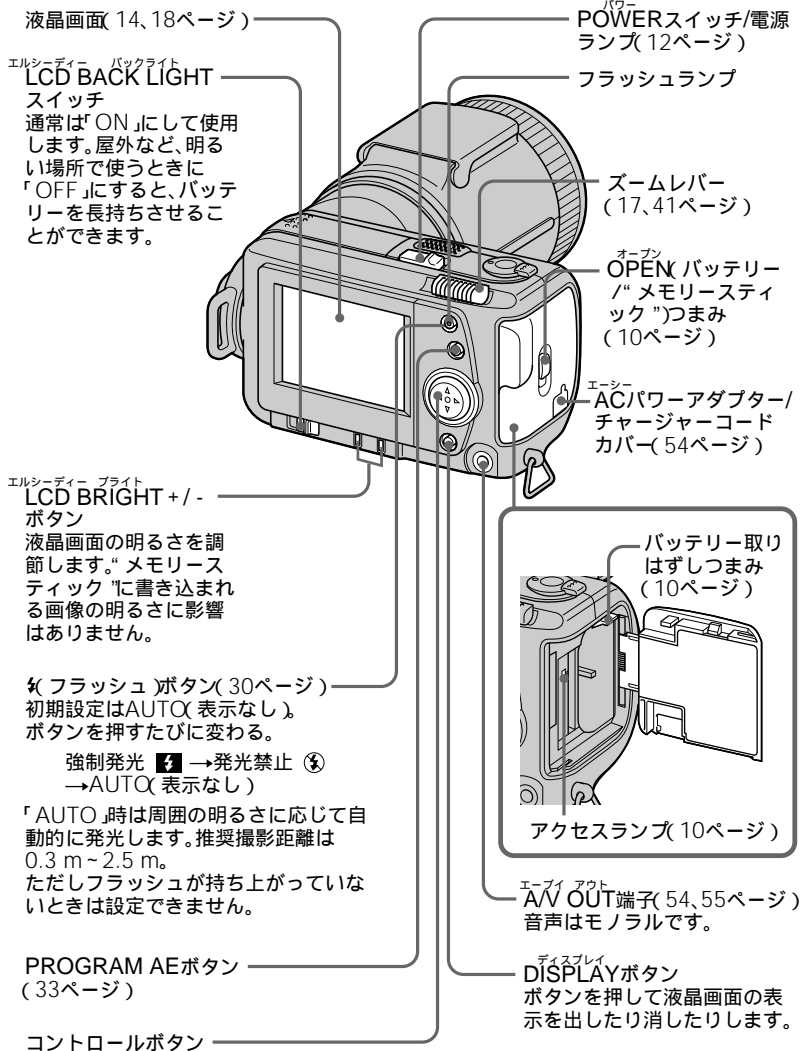
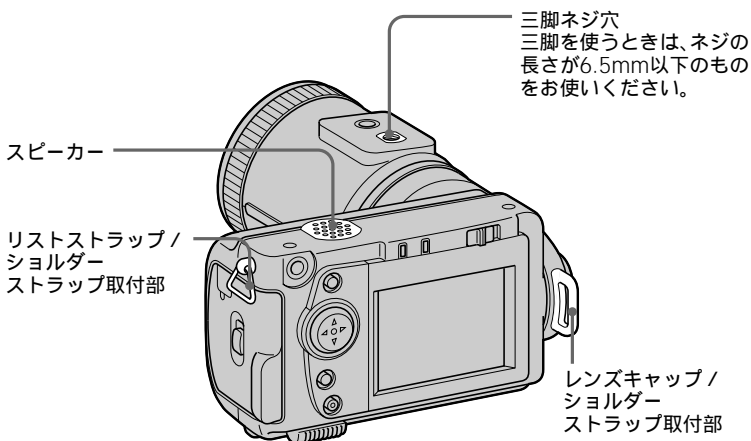
(フラッシュ)ボタン(30ページ)
初期設定はAUTO(表示なし)。
ボタンを押すたびに変わる。

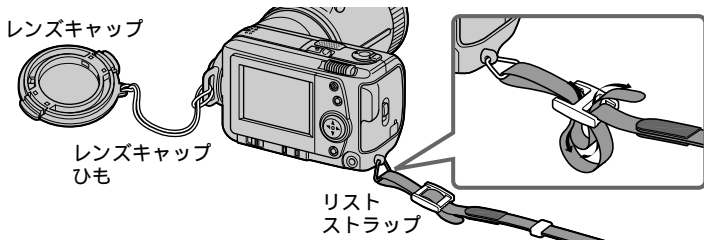
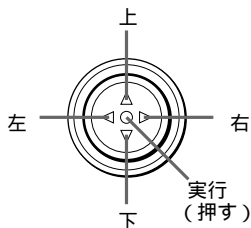
強制発光 → 発光禁止 → AUTO(表示なし)

「AUTO」時は周囲の明るさに応じて自動的に発光します。推奨撮影距離は0.3 m～2.5 m。
ただしフラッシュが持ち上がっていないときは設定できません。

エーブイ　アウト
A/V OUT**端子**(54、55ページ)
音声はモノラルです。

PROGRAM AE**ボタン**(33ページ)

ディスプレイ
DISPLAY**ボタン**
ボタンを押して液晶画面の表示を出したり消したりします。

コントロールボタン

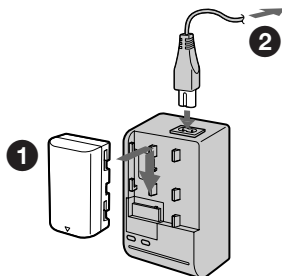
レンズキャップ（付属）とリストストラップ（付属）を取り付ける

レンズキャップひもがレンズキャップの左右の突起にかからないようにしてください。

コントロールボタンの使い方

ボタンの上下左右（▲/▼/◀/▶）を押して、各機能を選択することができます。

メニューの各項目は、選択されると青色から黄色に変わります。ボタンの中央（●）を押すと、選択されている項目を実行します。

準備する

1 バッテリーを充電する

バッテリーの充電にはACパワーアダプター／チャージャーを使用します。
本機の電源には"インフォリチウム"バッテリー（Sシリーズ）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。

1 バッテリーを押しながら矢印の方向にずらす。

2 コンセントにつなぐ。

充電が始まると、充電ランプ（オレンジ色）が点灯する。

充電が終わると消える**（実用充電）**。さらに約1時間充電すると若干長く使えます**（満充電）**。

ACパワーアダプター／チャージャーから取りはずす

バッテリーを上にずらす。

充電時間

バッテリー	満充電時間*	実用充電時間**
NP-FS11	約170分	約110分

使いきったバッテリーをACパワーアダプター/チャージャーAC-VF10で充電したときの時間です。

* 充電ランプが消えてから、約1時間充電したとき。

** 充電ランプが消えるまで充電したとき。

InfoLITHIUM S SERIES（インフォリチウムバッテリー）とは

InfoLITHIUM S SERIES（インフォリチウム）対応の機器との間でバッテリー使用状況に関するデータ通信を行うことのできるバッテリーです。本機はInfoLITHIUM S SERIES "インフォリチウム"（Sシリーズ）対応です。InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

バッテリーの使用時間／撮影可能枚数

静止画時

連続撮影時

LCD BACK LIGHT	使用時間	撮影/再生枚数
「ON」	約60分（55分）	約1100枚（1000枚）
「OFF」	約70分（60分）	約1300枚（1100枚）

連続再生時*

LCD BACK LIGHT	使用時間	撮影/再生枚数
「ON」	約90分（70分）	約1800枚（1400枚）
「OFF」	約115分（90分）	約2300枚（1800枚）

温度25°Cで満充電して使用したときの場合。（　）内は実用充電してからの場合。画面サイズが「640 × 480」で撮影モードが「通常撮影」、画質が「スタンダード」の場合。フラッシュ「OFF」で撮影した場合。
* 約3秒ごとにシングル画面を送りながら再生

動画時

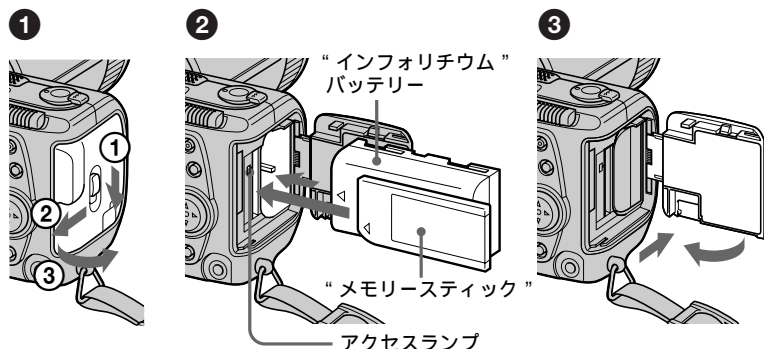
連続撮影時

LCD BACK LIGHT	使用時間
「ON」	約70分（60分）
「OFF」	約80分（65分）

温度25°Cで満充電して使用したときの場合。（　）内は実用充電してからの場合。画像サイズが「160 × 112」の場合。

- 電源の入／切を繰り返したとき、時間／枚数は減ります。
- "メモリースティック"の容量は限られています。上記は"メモリースティック"を交換しながら連続撮影／再生したときの目安です。
- 寒冷地での撮影では使用時間が短くなります。寒冷地でお使いになる場合は、バッテリーパックをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前に本体に入れてください。
  カイロをお使いの場合は、直接バッテリーパックに触れないようにご注意ください。

2 バッテリーと"メモリースティック"を本体に入れる

"Memory Stick"（"メモリースティック"）MEMORY STICK TM はソニー株式会社の商標です。

❶ バッテリー／"メモリースティック"カバーを開く。

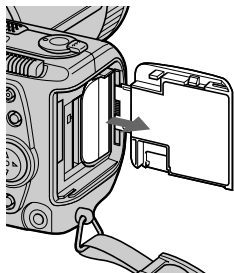
OPEN（バッテリー／"メモリースティック"）つまみを矢印の方向に引きながらカバーをずらして開ける。

❷ バッテリーと"メモリースティック"を入れる。

バッテリーを上の図のように▲マークが奥になるように押しこむ。
"メモリースティック"を上の図のように▲マークが奥になるように「カチッ」と音がするまで差し込む。

❸ バッテリー／"メモリースティック"カバーを閉じる。

バッテリーを取り出す

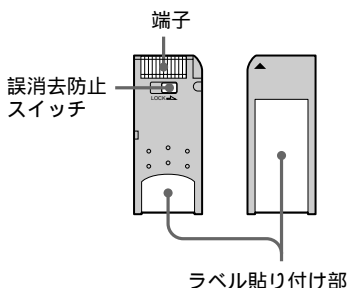
バッテリー／“ メモリースティック ” カバーを開け、バッテリー取りはずしつまみを上側にずらして、バッテリーを取り出す。

バッテリーが落下しないようご注意ください。

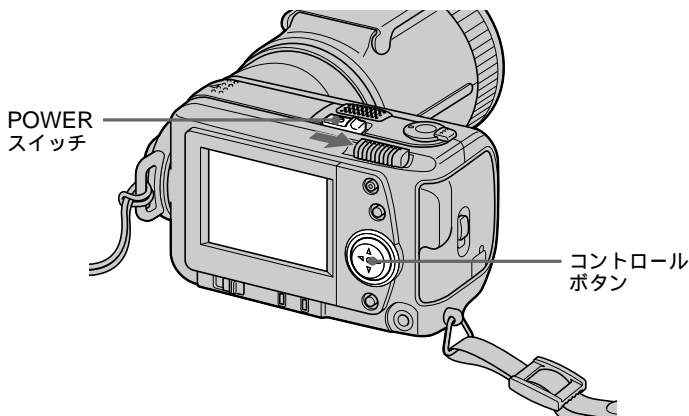
バッテリー残量時間表示
あと何分撮影／再生できるかを液晶画面に表示します。

オートパワーオフ機能
撮影時本機の電源を入れたまま操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再び使うときはもう1度電源を入れてください。
ACパワーアダプター／チャージャーをつないでいるときは、オートパワーオフ機能は働きません。

“ メモリースティック ”を取り出す

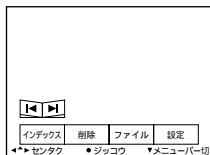
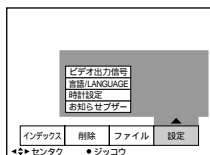
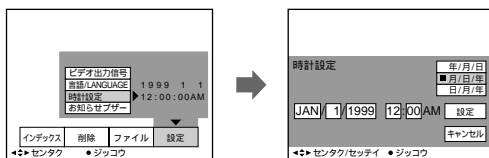
バッテリー／“ メモリースティック ” カバーを開け、“ メモリースティック ”を軽く一回押して取り出す。

ご注意
- “ メモリースティック ”を入れるときは、奥まできちんと差し込んでください。正しく差し込まれないと「メモリースティックエラー」等の表示がでます。
- アクセスランプが点灯しているときは、絶対に“ メモリースティック ”を取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録ができません。

3 日付・時刻を合わせる

本機をはじめて使うときは、日付・時刻を設定します。設定しないと、静止画／動画（撮影）状態で電源を入れるたびに手順**5**の日付設定画面が出ます。

❶ POWERスイッチを矢印の方向にずらし、電源を入れる。

電源ランプが点灯します。

❷ コントロールボタンの▲を押す。

メニューバーが出ます。

❸ コントロールボタンで「設定」を選び、ボタンを押す。

❹ **コントロールボタンで「時計設定」を選び、ボタンを押す。**

❺ **コントロールボタンでお好みの年月日の表示順を選び、押す。**

❻ **コントロールボタンで年月日および時間を選び、押す。**

修正する項目の上下に▲/▼が表示される。

コントロールボタンの▲/▼で数字を変更し、ボタンを押して確定する。

数字を変更すると次の項目に移る。

「日/月/年」を選んだときのみ、時間は24時間表示で合わせる。

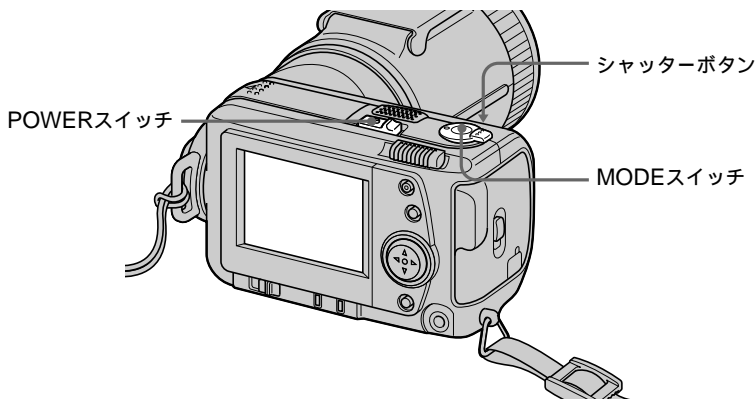
❼ **コントロールボタンで「設定」を選び、時報と同時にボタンを押す。**

中止するとき

コントロールボタンで「キャンセル」を選び、ボタンを押す。

撮影する

静止画を撮影する

POWERスイッチで電源を入れ（電源ランプが点灯する）、“ メモリースティック ”を入れておきます。

❶ **MODEスイッチを「STILL」にする。**

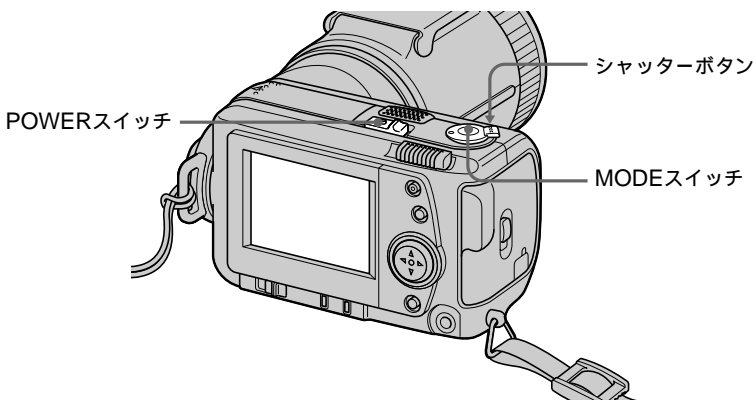
❷ **シャッターボタンを軽く押す。**
緑の●AEロック表示が点滅する。
AE（自動露出）、AF（オートフォーカス）がロックされると、●AEロック表示が点灯する。

❸ **シャッターボタンをさらに押し込む。**
画像が“ メモリースティック ”に書き込まれる。

ご注意

- “ メモリースティック ”に書き込み中は液晶画面に「記録中」の表示が出ます。表示中は、絶対に本機に強い振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取り出したりしないでください。画像データが破壊されるだけでなく、“ メモリースティック ”が使えなくなることがあります。
- FOCUSスイッチが「MANUAL」のとき、AF（オートフォーカス）はロックされません。AE（自動露出）がロックされると、緑の●AEロック表示が点灯します。
- ボイスメモ機能につきましては、51ページをご参照ください。

動画を撮影する

POWERスイッチで電源を入れ(電源ランプが点灯する)、"メモリースティック"を入れておきます。

❶**MODEスイッチを「MOVIE」にする。**

❷**シャッターボタンを強く押す。**

画像と音声が"メモリースティック"に書き込まれる。

ポンと1回押すと:ファイルメニューの「記録時間」で設定した時間(15秒、10秒、5秒)録画される。(51ページ)

押し続けると: 押し続けている間録画される。

ビデオメールモード: 160 × 112 サイズ(160)時、最大60秒

プレゼンテーションモード: 320 × 240 サイズ(320)時、最大15秒

ただし、最小の撮影時間は、上記の「記録時間」で設定された時間となります。

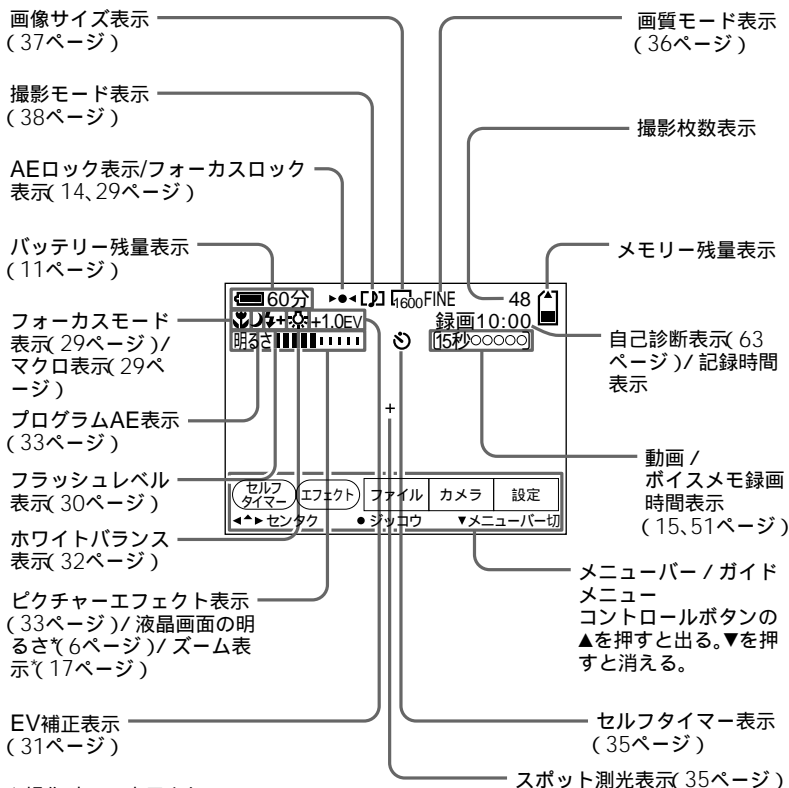
動画の画像は静止画の画像にくらべソフトな画像になります。

最後に撮影した画像を確かめる(レビュー)

メニューバーが表示されていないときにコントロールボタンの◀を押すと、最後に撮影した画像が表示されます。シャッターボタンを押すか、コントロールボタンで「戻る」を選ぶと、通常の撮影モードに戻ります。また、撮影した画像が不要の場合はレビュー画面上で削除することができます。

撮影中の画面表示

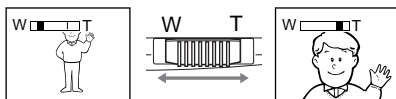
液晶画面の表示は記録されません。

* 操作時のみ表示される

ズームする

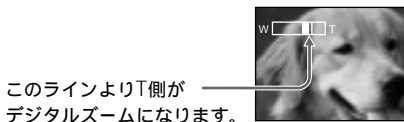
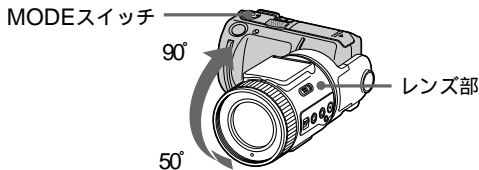
ズームレバーを動かす。

軽く動かすとゆっくりズームし、さらに動かすと速くズームする。
動画撮影時に使いすぎると見づらい作品になります。

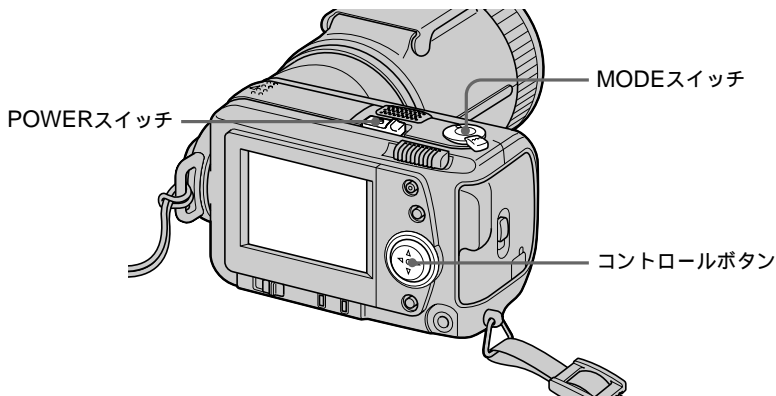
広角（Wide）：　被写体が小さくなる
望遠（Telephoto）：被写体が大きくなる

5倍を超えるズームはデジタルズームになります。

近くのものにピントがうまく合わないときは
ズームレバーをW側に動かして広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約50cm以上、T側では約80cm以上です。
より被写体に接近して撮影するときは29ページをご覧ください。

デジタルズームについて

- デジタルズームを使うと、ズーム倍率は10倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。デジタルズームを使う必要がないときは、メニューで「デジタルズーム」を「切」にすると、気付かないうちにデジタルズームになるのを防ぎます（51ページ）。
- 動画撮影時にデジタルズームを使うことはできません。5倍までの光学ズームになります。

レンズ部を回転させて撮る

レンズ部を上側に90度、下側に50度まで回転させ、角度を調節できます。

静止画を再生する

POWERスイッチで電源を入れ(電源ランプが点灯する)、撮影済みの“メモリースティック”を入れておきます。

❶ MODEスイッチを「PLAY」にする。

最後に撮影された画像が映ります。*

* 画像が1枚も撮影されていないときは、「ファイルがありません」と表示されます。

❷ コントロールボタンの▲を押し、メニューバーを出す。

❸ コントロールボタンで画像を選ぶ。

画面上のボタンを選び、押す。

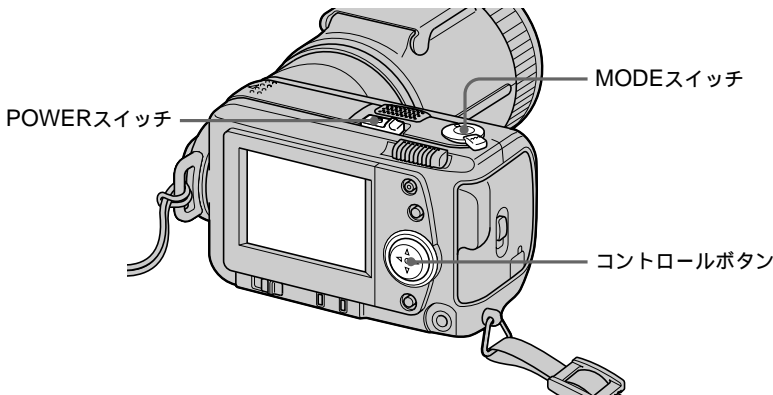
I◀:前の画像を見る。

▶I:次の画像を見る。

インデックス:6画面表示にする。

メニューバーを表示していないときは
コントロールボタンの◀/▶を使って画像を選ぶことができます。

動画を再生する

POWERスイッチで電源を入れ(電源ランプが点灯する)、撮影済みの“メモリースティック”を入れておきます。

❶MODEスイッチを「PLAY」にする。

最後に撮影された画像が映ります。

動画モードで撮影された画像は通常よりもひとまわり小さく表示されます。

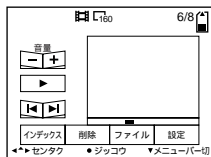
❷コントロールボタンの▲を押し、メニューバーを出す。

❸コントロールボタンで動画を選ぶ。

画面上のボタンを選び、押す。

I◀:前の画像を見る。

▶I:次の画像を見る。

インデックス:6画面表示にする。

❹コントロールボタンで画面上の▶(再生)ボタンを選び、押す。

動画と音声が再生されます。

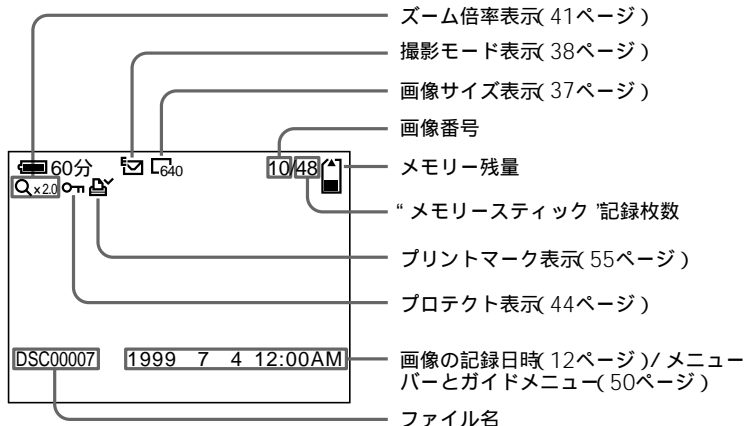
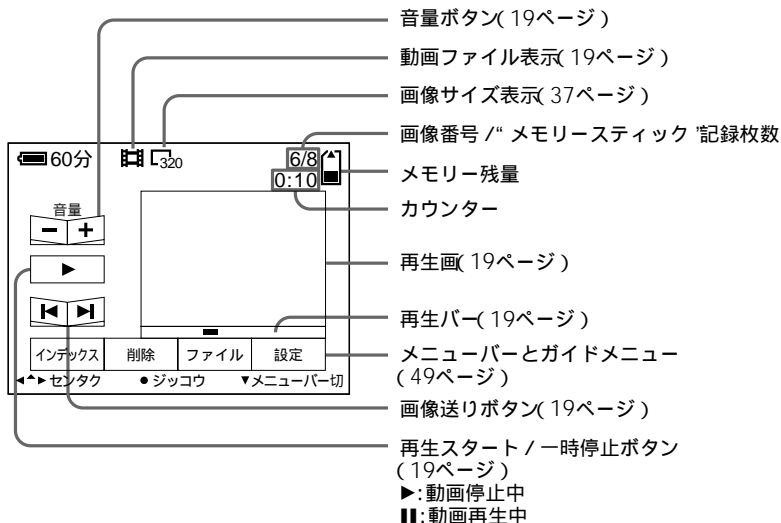
音量を調節する

コントロールボタンで画面上の音量＋/－ボタンを選び、コントロールボタンの◀/▶を押して調節する。

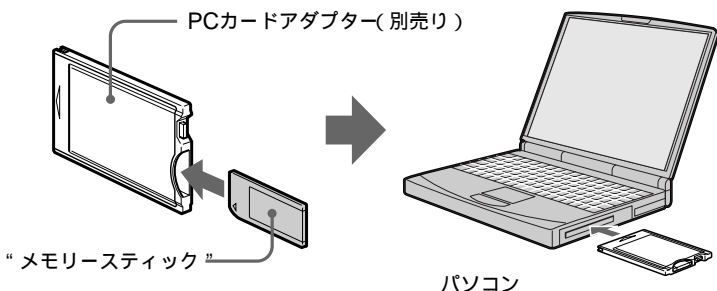
メニューバーを表示していないときは

コントロールボタンの◀/▶を使って画像を選び、●を押すと動画と音声が再生されます。

再生中の画面表示

静止画の場合

動画／VOICEの場合

パソコンで見る

本機で撮影した静止画像データはJPEG方式で、動画像・音声データはMPEG方式で圧縮されています。
JPEG、MPEG画像を見ることのできるアプリケーションソフトウェアがインストールされているパソコンで、"メモリースティック"の画像を見ることができます。
画像の取り込みなど詳しい操作方法については、アプリケーションソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

PCカードアダプター（別売り）を使用する方法

例：Windows98がインストールされているパソコンでの操作
あらかじめPCカードアダプターをパソコンに挿し込み、インストールを行ってください。詳しくはPCカードアダプターの取扱説明書をご覧ください。

❶ **パソコンを起動し、" メモリースティック "を入れたPCカードアダプター（別売り）をパソコンのPCカードドライブに入れる。**

❷ **「マイコンピュータ」を開き、新しく表示されたドライブをダブルクリックする。**

次の順番でフォルダをダブルクリックする。

撮影モード	ダブルクリックするフォルダ				ファイル名（例）
静止画	Dcim	→	100msdcf	→	Dsc00001.jpg
動画	Mssony	→	Moml0001	→	Mov00001.mpg
ボイスメモ	Mssony	→	Momlv100	→	Dsc00001.mpg
Eメール	Mssony	→	Imcif100	→	Dsc00001.jpg

❸ **見たい画像のファイルをダブルクリックする。**

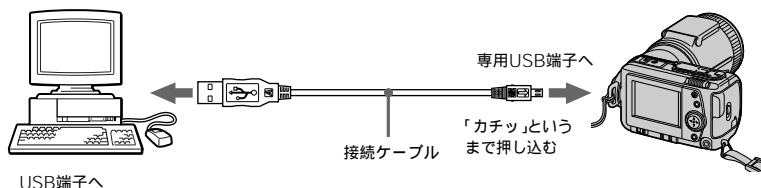
推奨OS
Windows 95/98/CE
Mac OS システム 7.5以降

対応機種
PCカードタイプ：
　PCカードタイプII 準拠
インターフェイス規格：
　PC Card ATA/True IDE規格

DIGITAL I/O(USB)端子にケーブルを接続する方法(IBM PC/AT およびその互換機、NEC PC98-NXシリーズ、Macintosh)

別売りのパソコン接続キット*DSKIT-US5を使って、パソコンとの間でデータのやりとりができます。
USB接続を行うためにはあらかじめUSBドライバーのインストールが必要です。インストール方法についてはパソコン接続キットDSKIT-US5の取扱説明書をご覧ください。

* **パソコン接続キット**
パソコンと本機を接続するための専用の接続ケーブルと、パソコンに本機で撮影した画像を転送するためのドライバーソフトウェアが付属されています。

パソコン接続キットDSKIT-US5をお持ちの場合

例：Windows98をお使いの場合

❶ **パソコンの電源を入れ、Windows98を起動する。**

❷ **パソコン接続キットDSKIT-US5に付属のUSBケーブルで本機の専用USB端子とパソコンのUSB端子を接続する。**

❸ **本機に“ メモリースティック ”を挿入し、ACパワーアダプター／チャージャーを接続する。**

❹ **本機の電源を入れ、USB端子に接続ケーブルが接続されていることを確認する。**
液晶画面に「PC MODE USB」と表示され、パソコンからの通信待機状態になります。

❺ **「マイコンピュータ」を開き、新しく表示されたドライブをダブルクリックする。**
ダブルクリックするフォルダの順番は撮影モードによって異なります。詳しくは「PCカードアダプター(別売)を使用する」の❷をご覧ください。

❻ **見たい画像のファイルをダブルクリックする。**

推奨Windows環境

- OS　　Microsoft Windows98 標準インストール
  Windows98へのアップグレード環境での動作保証はいたしません。
- CPU　　MMX Pentium 200MHz以上
  USB端子が標準で装備されていることが必要です。

推奨Macintosh環境

- OS　　Mac OS 8.5/8.6 標準インストール
- モデル　　iMac/G3
  USB端子が標準で装備されていることが必要です。

ご注意

- DSKIT-US5に付属の専用ケーブルを用いてパソコンのUSBポートに本機を直接接続し、他のUSBポートに何も接続されていない場合の動作は確認されています。
- 標準でUSBキーボードおよびマウスが装備されたパソコンにおいて、USBキーボードおよびマウスをパソコン本体の1つのUSBポートに接続し、もう1つのUSBポートにDSKIT-US5に付属の専用ケーブルを用いて本機に接続した場合の動作は確認されています。
- 1台のパソコンに2つ以上のUSB接続をされる場合、およびハブをご使用の場合は動作保証できません。
- 同時に使われるUSB機器によっては、動作しません。
- 推奨環境の全てのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- USB端子とシリアル端子の両方にケーブルが接続されているときは、先に接続した端子が優先されます（先差し優先）。先に接続したケーブルを抜かない限り、もう1つの端子は機能しません。
- パソコンがサスペンド、レジューム機能またはスリープ状態から復帰しても、通信状態が以前の状態に復帰できないことがあります。
- パソコンと接続するときはACパワーアダプター／チャージャーをご使用ください。バッテリーをご使用の場合、途中で電源がきれて通信できなくなり、データエラー等の不具合がおきることがあります。

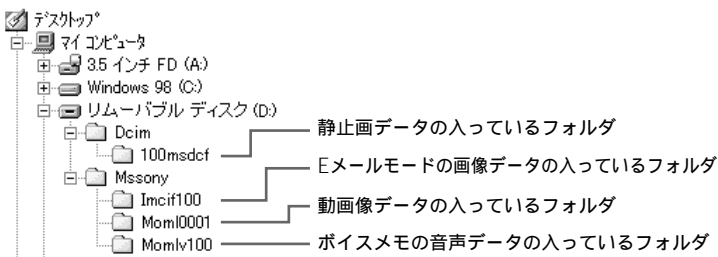
PCカードアダプターを使用する もしくはUSB端子に接続をする場合のご注意

- "メモリースティック"の誤消去防止スイッチをOFFにしてください。
- WindowsでMPEGファイルを再生するにはActive Movie Player（Direct Show）またはMedia Playerをインストールしてください。
- 動画またはボイスメモモードで記録したファイルを再生するときは、パソコンのハードディスクにデータをコピーしてください。"メモリースティック"で再生すると、画像や音が途切れることがあります。
- マッキントッシュではMPEGファイルを再生するにはQuick Time 3.2以降をインストールする必要があります。
- "メモリースティック"は出荷時の標準フォーマットでパソコンの外部メモリーとしても使用することが出来ますが、お手持ちのパソコンでフォーマットする場合は次の点にご注意ください。
  –Windows OSを使用するパソコンでフォーマットした"メモリースティック"は、本機での動作保証ができなくなります。本機でご使用になる場合は、再度本機でフォーマットしてからお使いください。
  –Machintoshでフォーマットした"メモリースティック"は本機で使用できなくなる場合があります。
  Machintoshでのフォーマット（Mac OSフォーマット、Pro Dosフォーマット、DOSフォーマット等）は行わないでください。
- パソコンで"メモリースティック"を最適化しないでください。フラッシュメモリーの寿命を縮める原因となります。
- "メモリースティック"内のデータを圧縮しないでください。圧縮されたデータは本機で使用できなくなります。

PCカードアダプターを使用する もしくはUSB端子に接続をして画像データをエクスプローラで見る

“メモリースティック”の画像データはエクスプローラでは新しいドライブ（例：リムーバブルディスク（D:））内に図のように格納されています。

例：USB端子に接続した場合(すべての撮影モードを記録したときの表示)

デスクトップ
マイ コンピュータ
3.5 インチ FD (A:)
Windows 98 (C:)
リムーバブル ディスク (D:)
Dcim
100msdcf ― 静止画データの入っているフォルダ
Mssony
Imcif100 ― Eメールモードの画像データの入っているフォルダ
Moml0001 ― 動画像データの入っているフォルダ
Momlv100 ― ボイスメモの音声データの入っているフォルダ

PCカードアダプターを使用する もしくはUSB端子に接続をするときのデータの取扱いについて

例1：Windows98をお使いの場合
上記のエクスプローラの図をご参照ください。
（例として本機が認識されたドライブを（D:）とします。）

- 本機からパソコンに静止画像データを取り込むとき
  ① （D:）ドライブ内の「Dcim」フォルダ内の「100msdcf」フォルダを開く。静止画像データの一覧が表示されます。
  ② ご希望の静止画像データを選択し、任意のドライブまたはフォルダに取り込む。

- パソコンから本機に静止画像データを取り込むとき
  ① ご希望の静止画像データを「Dcim」フォルダ内の「100msdcf」フォルダに取り込む。
  フォルダがないときは「100msdcf」という名前のフォルダを（半角英数字で）作成し、（D:）ドライブ内の「Dcim」フォルダに入れる。
  ② ご希望の静止画像データに「DSC0□□□□.jpg」というファイル名をつけ、「100msdcf」フォルダに保存する。□□□□には0001～9999までの数字を入れてください。ファイル名が重複しないようご注意ください。

Windows98**をお使いの場合に記録されるファイル**

撮影モード	**記録されるデータ**	**データ圧縮方式**	**ディレクトリ**	**ファイル名***	**備考**
通常撮影（静止画）	静止画像データ	JPEG	¥DCIM¥100MSDCF¥	DSC0□□□□.jpg	ー
Eメール	320×240の静止画像データ	JPEG	¥MSSONY¥IMCIF100¥	DSC0□□□□.jpg	320×240の画像データと自分の選んでいる静止画像データのファイル名の□□□□は同じ数字です。これら2つの画像データが保存されているフォルダは異なります。
	自分が選んでいる静止画像データ	JPEG	¥DCIM¥100MSDCF¥	DSC0□□□□.jpg	
ボイスメモ	音声データ	MPEG AUDIO（モノラル）	¥MSSONY¥MOMLV100¥	DSC0□□□□.mpg	音声データと画像データのファイル名の□□□□は同じ数字です。本機で扱うことができる音声データは本機またはデジタルマビカで記録された音声データです。
	静止画像データ	JPEG	¥DCIM¥100MSDCF¥	DSC0□□□□.jpg	
動画	動画像データ	MPEG-1	¥MSSONY¥MOML0001¥	MOV0□□□□.mpg	本機で扱うことができる動画像データは本機またはデジタルマビカで記録された動画像データです。

* □□□□は0001〜9999の数字です。複数の静止画像データまたは動画像データを本機に取り込む場合は、□□□□の数字が重複しないようにしてください。

例2：Macintosh**をお使いの場合**

• 本機からMacintoshに静止画像データを取り込むとき
① デスクトップ上に現れた新しいドライブを開く。次に「Dcim」フォルダの中の「100msdcf」フォルダを開く。静止画像データの一覧が表示されます。
② ご希望の静止画像データを選択し、任意のドライブまたはフォルダに取り込む。

• Macintoshから本機に静止画像データを取り込むとき
① ご希望の静止画像データをデスクトップ上に新しく現れたドライブの中の「Dcim」フォルダ内の「100msdcf」フォルダに取り込む。
フォルダがないときは「100msdcf」という名前のフォルダを（半角英数字で）作成し、デスクトップ上に新しく現れたドライブの中の「Dcim」フォルダに入れる。
② ご希望の静止画像データに「DSC0□□□□.jpg」というファイル名をつけ、「100msdcf」フォルダに保存する。□□□□には0001〜9999までの数字を入れてください。ファイル名が重複しないようご注意ください。

見る（つづき）

Macintoshをお使いの場合に記録されるファイル

撮影モード	記録されるデータ	データ圧縮方式	ファイルの場所	ファイル名*	備考
通常撮影（静止画）	静止画像データ	JPEG	DCIMフォルダの中にある100MSDCFフォルダ	DSC0□□□□.jpg	ー
Eメール	320 × 240の静止画像データ	JPEG	MSSONYフォルダの中にあるIMCIF100フォルダ	DSC0□□□□.jpg	320 × 240の画像データと自分の選んでいる静止画像データのファイル名の□□□□は同じ数字です。これら2つの画像データが保存されているフォルダは異なります。
	自分が選んでいる静止画像データ	JPEG	DCIMフォルダの中にある100MSDCFフォルダ	DSC0□□□□.jpg	
ボイスメモ	音声データ	MPEG AUDIO（モノラル）	MSSONYフォルダの中にあるMOMLV100フォルダ	DSC0□□□□.mpg	音声データと画像データのファイル名の□□□□は同じ数字です。本機で扱うことができる音声データは本機またはデジタルマビカで記録された音声データです。
	静止画像データ	JPEG	DCIMフォルダの中にある100MSDCFフォルダ	DSC0□□□□.jpg	
動画	動画像データ	MPEG-1	MSSONYフォルダの中にあるMOML00001フォルダ	MOV0□□□□.mpg	本機で扱うことができる動画像データは本機またはデジタルマビカで記録された動画像データです。

* □□□□は0001〜9999の数字です。複数の静止画像データまたは動画像データを本機に取り込む場合は、□□□□の数字が重複しないようにしてください。

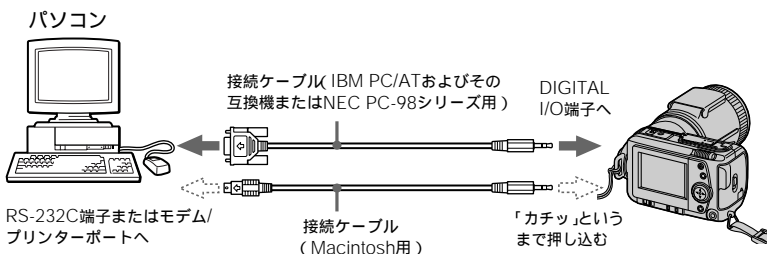
ご注意

- アプリケーションソフトによっては、静止画像データを開くとファイルサイズが大きくなる場合があります。
- レタッチソフト等を使って加工した画像をパソコンから本機に取り込む場合または本機の画像を直接加工した場合、画像形式が異なるためファイルエラー表示が出たりファイルが開けない場合があります。

DIGITAL I/O（シリアル）端子にケーブルを接続する方法（IBM PC/ATおよびその互換機、NEC PC-98シリーズ、Macintosh）

別売りのパソコン接続キット*DSKIT-PC5を使って、パソコンとの間でデータのやりとりができます。

＊パソコン接続キット
パソコンと本機を接続するための専用の接続ケーブルと、パソコンで本機の画像を取り込み、処理するためのアプリケーションソフトウェアが付属されています。

パソコン接続キットDSKIT-PC5をお持ちの場合

❶ パソコンにアプリケーションソフトウェアをインストールする。

別売りのパソコン接続キットに付属のアプリケーションソフトウェアをインストールします。詳しくは、パソコン接続キットの取扱説明書をご覧ください。

❷ パソコン接続キットに付属の変換ケーブル、接続ケーブルを使い、本機のシリアル端子とパソコンのRS-232C端子（IBM PC/ATおよびその互換機）またはモデム／プリンターポート（Macintosh）を接続する。

❸ 本機の電源を入れ、シリアル端子に接続ケーブルが接続されていることを確認し、MODEスイッチを「PLAY」に合わせる。

液晶画面に「PC MODE SERIAL」と表示され、パソコンからの通信待機状態になります。

❹ 手順❶でインストールしたアプリケーションソフトウェアを操作して、本機の画像データを取り込み、処理する。

パソコンでの操作方法は、パソコンとパソコン接続キットまたはお使いになっているアプリケーションソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

見る（つづき）

推奨Windows環境

- OS

Microsoft Windows 95/98
Microsoft Windows NT4.0

- アプリケーション

Sony PictureGear 3.2 Lite

- CPU Pentium 90MHz以上

(166MHz以上推奨）

- メインメモリー

32Mバイト以上
(64Mバイト以上推奨）

- ハードディスク空き容量

標準インストールで30Mバイト以上

- ディスプレイ

65536色以上、640×480ピクセル以上
（推奨解像度：800×600ピクセル以上）

推奨Macintosh環境

- OS

Mac OS 7.6.1以降

- アプリケーション

Sony Pic´n Roll Ver 2.0

- メインメモリー

32Mバイト以上(64Mバイト以上推奨）

- ハードディスク空き容量

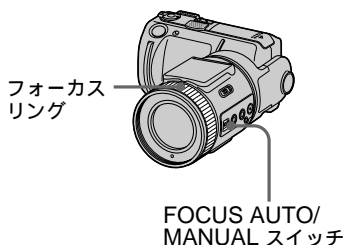
80Mバイト以上

- ディスプレイ

65536色以上、640×480ピクセル以上
（推奨解像度：800×600ピクセル以上）

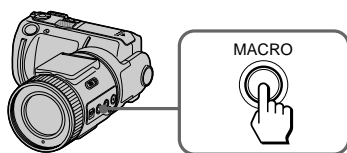
ご注意

- MPEGファイルを再生するにはActive Movie Playerをインストールしてください。
- .MacintoshでMPEGファイルを再生するにはQuickTime 3.2以降をインストールする必要があります。
- 本機のUSB端子とシリアル端子の両方にケーブルが接続されているときは、先に接続した端子が優先されます（先差し優先）。先に接続したケーブルを抜かない限り、もう1つの端子は機能しません。
- パソコンで操作している間、本機側での操作はできません。
- 接続ケーブルをつなぐときは、本機と接続する機器の電源を切ってから接続ケーブルをつなぎ、もう1度電源を入れてください。
- 本機を他の機器とつないで長時間ご使用になる場合は、ACパワーアダプター／チャージャーをお使いください。
- ボイスメモモードで記録された音声ファイル(静止画つき)はシリアル接続ではパソコンに転送できません。
- ボイスメモモードで記録された音声ファイル(静止画つき)はDSC–F505Kでは再生可能です。
- 動作環境については、お使いになるアプリケーションなどの取扱説明書をご覧ください。
- アプリケーションソフトウェアによっては、画像の回転情報が反映されないことがあります。

手動でピントを合わせる

1 FOCUSスイッチを「MANUAL」にする。
手動ピント合わせ表示Ⓕが出る。

2 フォーカスリングを回し、ピントの合う位置を調節する。
自動調節に戻すにはFOCUSスイッチを「AUTO」にする。
手動でピント合わせするとき、Ⓕが次のようなマークに変わります。
▲：無限遠にあるとき
●：それ以上近くにピント合わせをすることができないとき

ご注意
- マニュアルフォーカス使用時にフォーカスロック表示（▶●◀）は明るさや被写体の配置により表示されません。
- マニュアルフォーカス使用時に暗いところで使用するとフォーカスロック表示が表示されないことがあります。

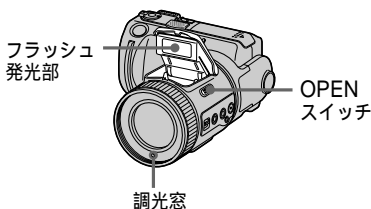
被写体に接近して撮る

1 FOCUSスイッチを「AUTO」にする。

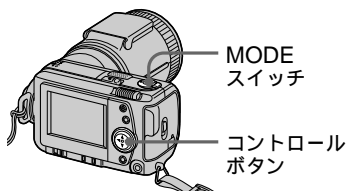
2 ズームレバーを広角（W側）に動かしてMACROボタンを押す。
約8cmまでの接写ができます。
画面にマクロ表示（🌷）が出ます。

MACROボタンをもう1度押して、マクロ表示（🌷）を消すと通常の撮影モードに戻ります。

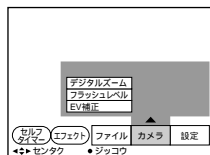
ご注意
- 被写体までの距離が80cm以内でズーム位置を望遠（T側）に動かしているときはピントが合いません。
- 次のプログラムAEのモードのときは、🌷が表示されマクロ撮影ができません。
  –風景モード
  –パンフォーカスモード

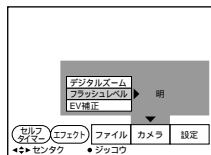
フラッシュを使って撮る

OPENスイッチをずらすと、フラッシュが持ち上がり、使用可能状態になります。

フラッシュの明るさを調節する

フラッシュの明るさを調節することができます。

1 MODE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 コントロールボタンの▲を押す。
メニューバーが出ます。

3 コントロールボタンで「カメラ」を選び、ボタンを押す。
カメラメニューが出ます。

4 コントロールボタンで「フラッシュレベル」を選び、ボタンを押す。

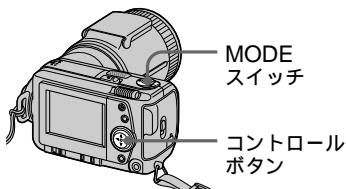
5 コントロールボタンでお好みの明るさを選ぶ。

6 コントロールボタンの▼をくり返し押す。
メニューバーが消えます。

フラッシュ設定のヒント
被写体の色が濃いとき、または背景が暗いとき：「暗」に設定
被写体の色が薄いとき、または背景が明るいとき：「明」に設定

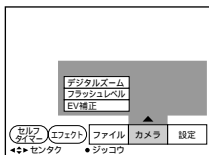
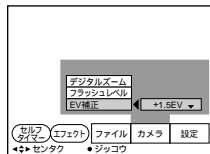
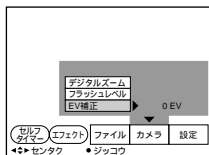
より適切な明るさに設定するには、試し撮りをしてご確認ください。

明るさを補正する

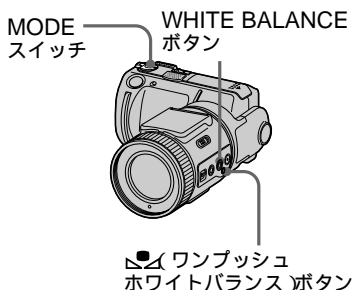
撮影状態に合わせて、被写体の明るさを補正して撮影することができます。

逆光や、スポットライトなどで被写体の明るさが背景と極端に違うとき。

1 MODE**スイッチを「**MOVIE**」または「**STILL**」にする。**

2 コントロールボタンの▲を押す。
メニューバーが出ます。

3 コントロールボタンで「カメラ」を選び、ボタンを押す。
カメラメニューが出ます。

4 コントロールボタンで「EV **補正」を選び、ボタンを押す。**

5 コントロールボタンでお好みの明るさを選び、ボタンを押す。
背景の映像の明るさを確認しながら調節してください。
0.5EVごとに＋1.5EVから－1.5EVまで変えられます。

6 コントロールボタンの▼を繰り返し押す。
メニューバーが消えます。

自然な色合いに調節する – ホワイトバランス

これから撮ろうとする光の状態で、自然な色合いの画像になるように手動で調節できます。通常は、自動的にホワイトバランスの調節が行われています。

1 MODE**スイッチを「**MOVIE**」または「**STILL**」にする。**

2 WHITE BALANCE**ボタンをくり返し押して希望のモードを選ぶ。**

❒ ワンプッシュホワイト
　バランス（ ）：
　光源に合わせてホワイトバランスを一定の設定にするとき

❒ 屋外（☀）：
- 夜景やネオン、花火などを撮るとき
- 日の出、日没などを撮るとき

❒ 屋内（☼）：
- パーティー会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
- スタジオなどビデオライトの下で撮るとき
- ナトリウムランプや水銀灯の下で撮るとき

❒ オート：
　ホワイトバランスを自動調節するとき

（ワンプッシュホワイトバランス）モードで撮る

① WHITE BALANCEボタンをくり返し押して 表示を選ぶ。

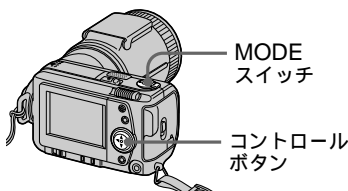
② 被写体を照らす照明条件と同じ所に白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。

③ ボタンを押す。
表示が速い点滅に変わる。ホワイトバランスが調整されてカメラに記憶されると、点灯に変わる。

ご注意

- 表示について
遅い点滅：ホワイトバランスが未設定
速い点滅：ホワイトバランス調整中
点灯：ホワイトバランス設定終了
- ボタンを押しても 表示が点滅から点灯に変わらない場合は「オート」で撮影してください。

画像に特殊効果を加える – ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。

1 MODE**スイッチを「**MOVIE**」または「**STILL**」にする。**

2 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

3 **コントロールボタンで「エフェクト」を選び、ボタンを押す。**
くり返し押して、お好みのピクチャーエフェクトを表示させます。

- ❐ ネガアート:写真のネガフィルムのように
- ❐ セピア:古い写真のような色合い
- ❐ モノトーン:白黒に
- ❐ ソラリ:明暗をはっきりさせたイラストのように

4 **コントロールボタンの▼を押す。**
メニューバーが消えます。

ピクチャーエフェクトを解除する
手順**3**で「エフェクト」を選び、ピクチャーエフェクト表示が消えるまでコントロールボタンをくり返し押す。

撮影状況に合わせて撮る – プログラムAE

被写体や撮影状況に合わせた調節を自動的に行います。

PROGRAM AE**ボタンをくり返し押して希望のモードを選ぶ。**

AE A アイリス(絞り)優先AEモード:
意図的に、背景をぼかして被写体を際立たせたり、被写体と背景を際立たせたりすることができます。

AE S シャッタースピード優先AEモード:
意図的に、動きのある被写体の一瞬の動きや被写体の流動感を撮影することができます。

夜景モード:
暗い場所での明るい被写体の色とびをおさえ、暗い雰囲気を損なわずに撮影することができます。

夜景+(プラス)モード:
夜景モードの機能をさらに効果的に使用することができます。

風景モード:
遠景にピントを合わせることで、遠くの風景などを撮影しやすくします。

パンフォーカスモード:
気軽に近くの被写体から遠くの被写体にピントを合わせることができます。

次のページにつづく➔

アイリス(絞り)を設定する

1 PROGRAM AE**ボタンをくり返し押してAE A を選ぶ。**

2 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

3 **コントロールボタンで「カメラ」を選び、ボタンを押す。**
カメラメニューが出ます。

4 **コントロールボタンで「レンズ絞り値」を選び、ボタンを押す。**

5 **希望のアイリス値を選ぶ。**
アイリス値は次の7段階から選べる。
F2.8、F3.4、F4.0、F4.8、F5.6、F6.8、F8.0
数字が小さくなるほど絞り径は開き、大きくなるほど閉じられる。

ご注意
ズームレバーをT側に合わせているとき、F2.8は選べません。

プログラムAEを解除する
PROGRAM AEボタンをくり返し押して画面内の表示を消す。

シャッタースピードを設定する

1 PROGRAM AE**ボタンをくり返し押してAE S を選ぶ。**

2 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

3 **コントロールボタンで「カメラ」を選び、ボタンを押す。**
カメラメニューが出ます。

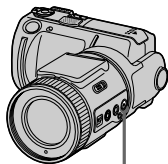
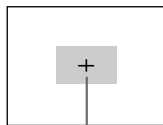
4 **コントロールボタンで「シャッタースピード」を選び、ボタンを押す。**

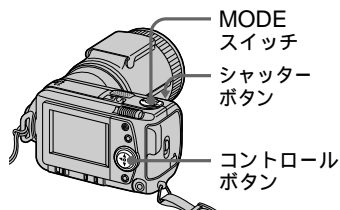
5 **希望のシャッタースピードを選ぶ。**
シャッタースピードは次の12段階から選べる。
ビデオ出力信号がNTSCのとき：
1/8、1/15、1/30、1/60、1/90、1/100、1/125、1/180、1/250、1/350、1/500、1/725
ビデオ出力信号がPALのとき：
1/6、1/12、1/25、1/50、1/75、1/100、1/120、1/150、1/215、1/300、1/425、1/600
本機のシャッタースピード表示は100なら1/100のようになる。数字が大きくなるほどシャッタースピードは速くなる。

ご注意
- 風景モードでは遠景のみにピントが合うようにオートフォーカスをコントロールしています。
- パンフォーカスモードでは、ズーム位置やフォーカスを固定しています。
- 夜景＋(プラス)モードで撮影するときは、手ぶれを防ぐため三脚の使用をおすすめします。
- 次のモードでフラッシュを使うときは、強制発光 にしてください。
  －夜景モード
  －夜景＋(プラス)モード
  －風景モード
- 夜景＋(プラス)モードで撮影するとき、オートフォーカスがロックする直前に一瞬画像が荒く見えることがありますが、故障ではありません。

スポット測光モードを使う

本機は最適な露出値を自動的に決定するAE（自動露出）機能を持っています。全体測光では画面全体の測光データを用いて測光演算し露出値を決定します。撮りたいポイントだけを適確な露出で撮りたいときは、スポット測光モードを使います。

- 逆光のとき
- スポットライトで照明されたステージなど、被写体と背景とのコントラストが強いとき

SPOT METERボタンで全体測光、スポット測光の切り替えをする。

セルフタイマーで撮る

シャッターを押してから、10秒後に自動撮影できます。

1 MODEスイッチを「MOVIE」または「STILL」にする。

2 コントロールボタンの▲を押す。

メニューバーが出ます。

3 コントロールボタンで「セルフタイマー」を選び、ボタンを押す。

セルフタイマー表示（૭）が出ます。

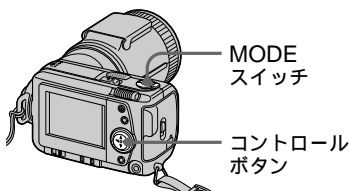
4 シャッターボタンを軽く押す。

AEロック表示（●）が出ます。

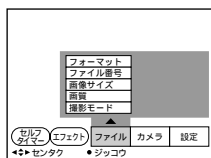
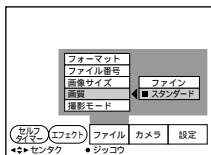
5 シャッターボタンを下まで押す。

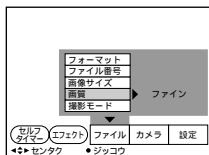
録画ランプ、セルフタイマー表示（૭）が点滅を始め、10秒後に自動的に撮影されます。

画質モードを選ぶ

2通りの画質モードを選んで撮影できます。画質モードによって撮影できる枚数が異なります。

1 **MODEスイッチを「STILL」にする。**

2 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

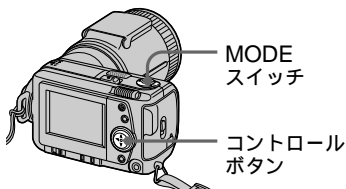
3 **コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。**
ファイルメニューが出ます。

4 **コントロールボタンで「画質」を選び、ボタンを押す。**

❒ ファイン：
画質を優先するときに使う。
❒ スタンダード：
標準画質モード。

5 **画質モードを選び、コントロールボタンを押す。**

6 **コントロールボタンの▼を繰り返し押す。**
メニューバーが消えます。

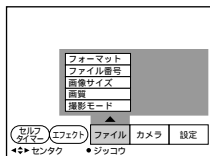
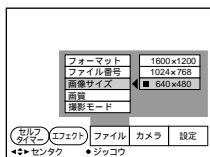
画質モードの違いは？
画像は、JPEGという方式で圧縮処理をしてから記録されますが、記録されるときに割り当てられるメモリー容量は画質モードにより異なります。

ご注意
画像によっては、画質モードを変えても、画質に差がない場合があります。

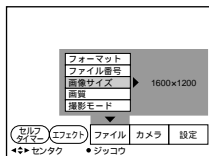
画像の大きさを選ぶ

撮影状態に合わせて、画像サイズを変えて撮影することができます。

1 MODE**スイッチを「**MOVIE**」または「**STILL**」にする。**

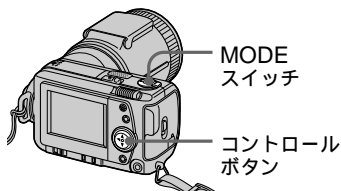
2 コントロールボタンの▲を押す。
メニューバーが出ます。

3 コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。
ファイルメニューが出ます。

4 コントロールボタンで「画像サイズ」を選び、ボタンを押す。

「STILL」**を選んでいるとき**
- ❒ 1600 × 1200：
  JPEG画像を1600 × 1200サイズで記録する。
- ❒ 1024 × 768：
  JPEG画像を1024 × 768サイズで記録する。
- ❒ 640 × 480：
  JPEG画像を640 × 480サイズで記録する。

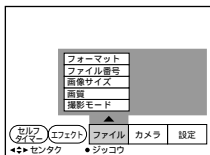
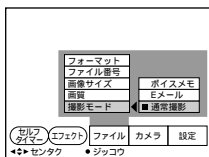
「MOVIE」**を選んでいるとき**
- ❒ 320 × 240：
  MPEG画像を320 × 240サイズで記録する。
- ❒ 160 × 112：
  MPEG画像を160 × 112サイズで記録する。

5 コントロールボタンでお好みのサイズを選び、ボタンを押す。

6 コントロールボタンの▼をくり返し押す。
メニューバーが消えます。

撮影モードを選ぶ

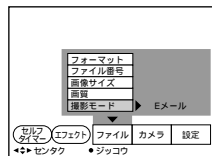
撮影状態に合わせて、静止画に音声を加えて撮影したり、Eメールに適した画像で撮影したりすることができます。

1 MODE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 コントロールボタンの▲を押す。
メニューバーが出ます。

3 コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。
ファイルメニューが出ます。

4 コントロールボタンで「撮影モード」を選び、ボタンを押す。

❒ ボイスメモ：
JPEGファイルに加えて、音声ファイル（静止画つき）を記録する。

❒ Eメール：
自分が選んでいる画像サイズに加えて、「320 × 240」サイズのJPEGファイルを記録する。「320 × 240」サイズの画像はデータ量が少なく、Eメール転送などに適している。

❒ 通常撮影：
「画像サイズ」で選択したサイズでJPEGファイルを記録する。

5 コントロールボタンでお好みのサイズを選び、ボタンを押す。

6 コントロールボタンの▼をくり返し押す。
メニューバーが消えます。

MODEスイッチが「STILL」のとき

記録モード	サイズ	記録されるファイル	ファイル名（例）Dsc	"メモリースティック"（4MB）1枚に撮影できる枚数の目安 スタンダード	ファイン
通常撮影	1600 × 1200	JPEG画像（1600 × 1200）	00001.jpg	10〜15	5〜8
	1024 × 768	JPEG画像（1024 × 768）	00001.jpg	27〜49	14〜27
	640 × 480	JPEG画像（640 × 480）	00001.jpg	47〜63	27〜38
Eメール	1600 × 1200	JPEG画像（1600 × 1200） JPEG画像（320 × 240）	00001.jpg	10〜14	5〜8
	1024 × 768	JPEG画像（1024 × 768） JPEG画像（320 × 240）	00001.jpg	24〜48	13〜24
	640 × 480	JPEG画像（640 × 480） JPEG画像（320 × 240）	00001.jpg	38〜48	24〜32
ボイスメモ	1600 × 1200	JPEG画像（1600 × 1200） 静止画（320 × 240）付き MPEG音声	00001.jpg 00001.mpg	9〜12	5〜7
	1024 × 768	JPEG画像（1024 × 768） 静止画（320 × 240）付き MPEG音声	00001.jpg 00001.mpg	19〜27	11〜19
	640 × 480	JPEG画像（640 × 480） 静止画（320 × 240）付き MPEG音声	00001.jpg 00001.mpg	27〜32	19〜24

MODEスイッチが「MOVIE」のとき

モード	サイズ	記録されるファイル	ファイル名（例）Mov	"メモリースティック"（4MB）1枚に撮影できる時間*
プレゼンテーション	320 × 240	MPEG画像（320 × 240）	00001.mpg	40秒
ビデオメール	160 × 112	MPEG画像（160 × 112）	00001.mpg	160秒

* 連続して撮影した場合

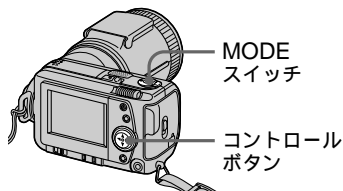
ディレクトリー名について

それぞれの記録モードによるディレクトリー名は次のようになります。

通常撮影：Dcim¥100msdcf
Eメール：¥Mssony¥Imcif100
ボイスメモ：¥Mssony¥Momlv100
動画：¥Mssony¥Moml0001

6画面表示をする – インデックス表示

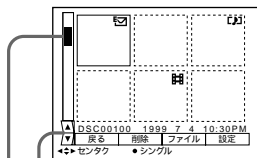
撮影した画像を6枚ずつ一度に再生できます。6枚の中から画像を選びシングル画面に表示することもできます。

画像を検索するときなど。

1 MODE**スイッチを「**PLAY**」にする。**

2 **コントロールボタンの▲を押す。**

メニューバーが出ます。

3 **コントロールボタンで「インデックス」を選び、ボタンを押す。**

6枚の画像が一度に再生されます(インデックス画面)。

6枚単位で違う画像を表示する

現在表示されている画像が全体の撮影枚数のどの部分にあたるかを示す

:動画ファイル
:音声が記録されているファイル
:Eメールモードファイル
:プリントマーク
:プロテクトマーク

6枚単位で違う画像を表示する

コントロールボタンで画面左下の「▲/▼」を選び、コントロールボタンの▲、▼で画像を送ります。

▲	前の6枚を表示
▼	後の6枚を表示

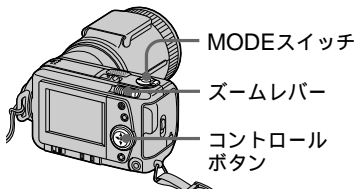
シングル画面表示に戻すときは

- コントロールボタンで見たい画像を選び、ボタンを押す。
- コントロールボタンで「戻る」を選び、ボタンを押す。

ご注意

インデックス表示のときは、メニューバーを消すことはできません。

画面の一部を拡大する – 再生ズーム／トリミング

撮影した画像を拡大したりトリミングしたりできます。

1 **MODEスイッチを「PLAY」にする。**

2 **拡大したい画像を表示する。**

3 **ズームレバーで画像をお好みの大きさにする。**
ズーム倍率表示が出ます。

4 **コントロールボタンを繰り返し押して、拡大部分を選ぶ。**
▲：画像が下に移動します。
▼：画像が上に移動します。
◀：画像が右に移動します。
▶：画像が左に移動します。

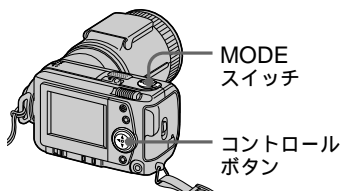
拡大表示をやめる
ズーム倍率表示（🔍 × 1.1）が消えるまで、画像を縮小するか、コントロールボタンを押します。
画像ズーム倍率表示（🔍 × 1.1）が消えます。

拡大した画像を記録する（トリミング）
再生ズームを行った画像を記録することができます。画像がお好みの大きさ、位置になったときにシャッターボタンを押すと、画像が640 × 480サイズで記録されます。

ご注意
- 動画では、再生ズーム、トリミングはできません。
- ズーム倍率は画像サイズに関係なく、元の画像の5倍までです。

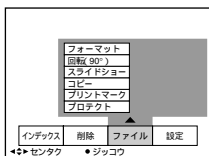
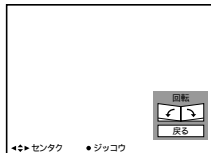
画像を回転させて再生する

撮影した静止画像を回転させることができます。
回転した画像は、回転情報として画像ファイルに記録されます。

縦で撮った画像を再生時に横にして見たいときなどに。

1 MODE**スイッチを「**PLAY**」にする。**

2 **回転させたい画像を表示する。**

3 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

4 **コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。**
ファイルメニューが出ます。

5 **コントロールボタンで「回転(90°)」を選び、ボタンを押す。**

- ❐ ↘:画像を右回りに90度回転させるとき。
- ❐ ↙:画像を左回りに90度回転させるとき。

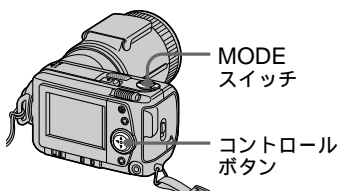
6 **↘または↙で画像を回転させて、コントロールボタンで「戻る」を選び、ボタンを押す。**

画像表示を元に戻す
手順**6**で繰り返し↘または↙を選んで、画像を元に戻してから、「戻る」を選ぶ。

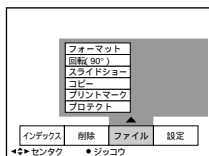
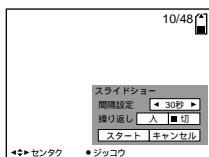
ご注意
- 動画は回転できません。
- 他機で撮影した画像は回転できないことがあります。
- "メモリースティック"の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていたり、画像がプロテクトされているときは回転できません。
- パソコンで画像を見るとき、アプリケーションソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

画像を順番に再生する – スライドショー

すべての画像を次々に自動再生します。

プレゼンテーションをするときなど。

1 MODE**スイッチを「PLAY」にする。**

2 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

3 **コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。**
ファイルメニューが出ます。

4 **コントロールボタンで「スライドショー」を選び、ボタンを押す。**

5 **「間隔設定」を設定する。**
コントロールボタンの◀、▶でスライドショーの間隔を設定する。1分、30秒、10秒、5秒、3秒から選ぶことができます。

6 **「繰り返し」を設定する。**
❒ 入:「戻る」を選ぶまで、繰り返し再生される。
❒ 切: すべての画像が再生されると、一時停止状態になる。

7 **コントロールボタンで「スタート」を選び、ボタンを押す。**
スライドショーが始まります。

スライドショーの設定を中止するとき

コントロールボタンで「キャンセル」を選び、ボタンを押す。

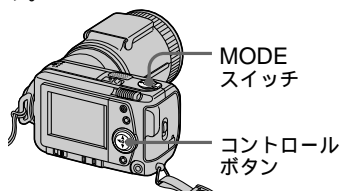
ご注意
間隔設定時間は、画像サイズ、画質モードにより、ずれることがあります。

次のページにつづく➔

スライドショー設定中の操作

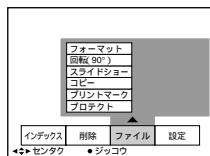
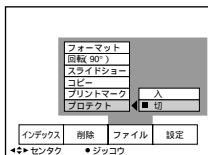
- 一時停止
  画面上の「❚❚」をコントロールボタンで選び、ボタンを押す。
- 一時停止の解除
  画面上の「▶」をコントロールボタンで選び、ボタンを押す。
- 画像の送り／戻し
  画面上の「❙◀/▶❙」をコントロールボタンで選び、コントロールボタンの◀、▶を押す。もしくはメニューバーの消えた状態でコントロールボタンの◀、▶を押す。
  「間隔設定」の時間に関係なく画像が変わります。
- 終了
  コントロールボタンで「戻る」を選び、ボタンを押す。

大事な画像を残す – プロテクト

大事な画像を残すために、撮影したすべての画像または画像を選んでプロテクト（誤消去防止）指定ができます。

シングル画面表示のとき

1 MODE**スイッチを「**PLAY**」にして、プロテクトをかける画像を表示する。**

2 **コントロールボタンの▲を押す。**
メニューバーが出ます。

3 **コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。**
ファイルメニューが出ます。

4 **コントロールボタンで「プロテクト」を選び、ボタンを押す。**

5 コントロールボタンで「入」を選び、ボタンを押す。
表示されている画像にプロテクトがかかります。

6 コントロールボタンの▼を繰り返し押す。
メニューバーが消えます。
プロテクトされた画像に「⊶」マークがつきます。

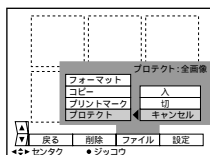
プロテクト指定を解除する
手順**5**でコントロールボタンで「切」を選び、ボタンを押す。

インデックス画面表示のとき

1 インデックス画面表示にする。

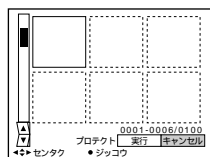
2 コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。

3 コントロールボタンで「プロテクト」を選び、ボタンを押す。

4 すべての画像にプロテクトをかける(または解除する)ときは「全画像」を、プロテクトをかける(または解除する)画像を選ぶときは「選択画像」をコントロールボタンで選び、ボタンを押す。

「全画像」を選んだとき

すべての画像にプロテクトをかける
コントロールボタンで「入」を選び、ボタンを押す。

すべての画像のプロテクト指定を解除する
コントロールボタンで「切」を選び、ボタンを押す。

「選択画像」を選んだとき

プロテクトをかける

① プロテクトをかける画像をコントロールボタンで選び、ボタンを押す。
⊶(プロテクト)表示が出ます。

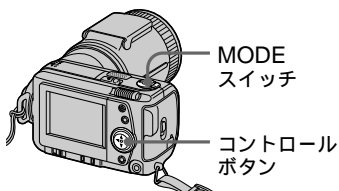
② プロテクトをかけたい画像をすべて選んだら、コントロールボタンで「実行」選び、ボタンを押す。
⊶(プロテクト)表示が緑色から白色に変わります。

プロテクト指定を解除する
手順①でプロテクト指定を解除したい画像を選び、コントロールボタンで「実行」を選び、ボタンを押す。

ご注意
"メモリースティック"の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっているときは、プロテクト指定や解除はできません。

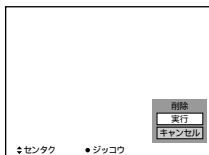
いろいろな再生のしかた

画像を消す – 削除

不要になった画像を削除できます。撮影したすべての画像を一度に削除することも、画像を選んで削除することもできます。

シングル画面表示のとき

1 MODE**スイッチを「**PLAY**」にし、削除したい画像を表示する。**

2 コントロールボタンの▲を押す。
メニューバーが出ます。

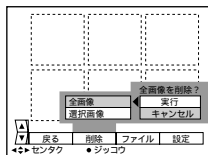
3 コントロールボタンで「削除」を選び、ボタンを押す。

4 コントロールボタンで「実行」を選び、ボタンを押す。
画像が削除されます。

ご注意
一度削除した画像は元に戻せません。削除する前に内容を確認してください。

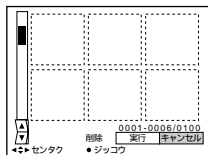
インデックス画面表示のとき

1 インデックス画面表示にする。

2 コントロールボタンで「削除」を選び、ボタンを押す。

3 すべての画像を削除するときは「全画像」を、削除する画像を選ぶときは「選択画像」をコントロールボタンで選び、ボタンを押す。

「全画像」を選んだとき

コントロールボタンで「実行」を選び、ボタンを押す。

「選択画像」を選んだとき

① 削除する画像をコントロールボタンで選び、ボタンを押す。
🗑(削除)表示が出ます。

② 削除したい画像を選んだら、コントロールボタンで「実行」を選び、ボタンを押す。
選択した画像が削除されます。

削除をやめるとき

コントロールボタンで「キャンセル」を選び、ボタンを押す。

ご注意

- 「全画像」削除を実行してもプロテクトされている画像は削除できません。
- 「選択画像」削除を選んだとき、プロテクトされている画像は選択できません。

“メモリースティック”の画像をコピーする

シングル画面表示のとき

1 コントロールボタンの▲を押す。
メニューバーが出る。

2 コントロールボタンで「ファイル」を選びボタンを押す。

3 コントロールボタンで「コピー」を選び「実行」を押す。
「アクセス中」の表示が出る。

4 「メモリースティック交換」と表示されたら、“メモリースティック”を取り出す。

5 「メモリースティック挿入」と表示されたら、別の“メモリースティック”を入れる。
「記録中」の表示が出る。

6 「書き込み終了」表示が出たら完了。
別の“メモリースティック”へコピーするときは、コントロールボタンで「コピー続行」を選んで押し、手順**4**〜**6**を繰り返す。
終了するときは、コントロールボタンで「終了」を選んで押す。

いろいろな再生のしかた

次のページにつづく➔

インデックス画面表示のとき

1 インデックス画面表示にする。

2 ファイルメニュー内の「コピー」を選び、ボタンを押す。

3 「選択画面」を選び、ボタンを押す。

4 コピーする画像をコントロールボタンで選び、ボタンを押す。
✔(コピー)表示が出ます。

5 コントロールボタンで「実行」を選び、ボタンを押す。
「アクセス中」の表示が出ます。

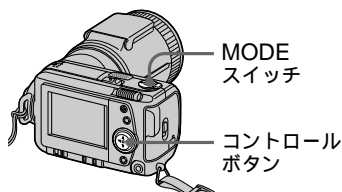
6 「メモリースティック交換」と表示されたら、“メモリースティック”を取り出す。

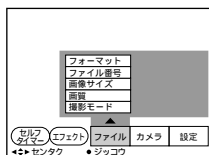
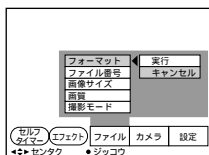
7 「メモリースティック挿入」と表示されたら、別の“メモリースティック”を入れる。
「記録中」の表示が出る。

8 「書き込み終了」表示が出たら完了。
別の“メモリースティック”へコピーするときは、コントロールボタンで「コピー続行」を選んで押し、手順**6**〜**8**を繰り返す。
終了するときは、コントロールボタンで「終了」を選んで押す。

ご注意

- ファイルサイズが約1.4MBを超えるものは、コピーできません。コピーしようとすると「コピーできる容量を超えています」と表示されます。インデックス画面表示のときは✔(コピー)表示が点滅します。ファイル数を減らしてからコピーしてください。
- 残容量の少ない“メモリースティック”にはコピーしようとすると、「メモリースティックの残量がありません」が表示されることがあります。
- 途中で中止したいときは、MODEスイッチを切り替えるか、電源を切ってください。

“ メモリースティック ”をフォーマットする

1 コントロールボタンの▲を押す。
メニューバーが出ます。

2 コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。
ファイルメニューが出ます。

3 コントロールボタンで「フォーマット」を選び、ボタンを押す。

4 コントロールボタンで「実行」を選び、ボタンを押す。
フォーマットが実行され「フォーマット中」の表示が出ます。

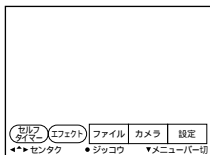
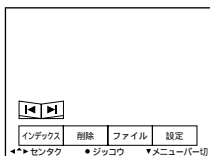
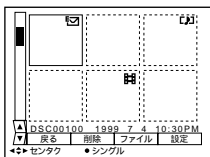
フォーマットを中止するとき
手順**4**でコントロールボタンで「キャンセル」を選び、ボタンを押す。

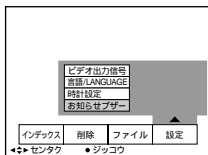
ご注意
- フォーマットを実行すると、これまで記録されたすべての画像が削除されます。画像がプロテクトされていても削除されます。必要な画像はあらかじめパソコンなどに保存しておいてください。
- “ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっているときは、フォーマットできません。

メニューで設定を変える

1 コントロールボタンの▲を押す。

メニューバーが出ます。

「MOVIE」または「STILL」のとき

「PLAY」（シングル画面表示）のとき

「PLAY」（インデックス画面表示）のとき

2 コントロールボタンで希望の項目を選び、ボタンを押す。

各項目は、選択されると青色から黄色に変わり、コントロールボタンを押すと設定項目が表示されます。

3 コントロールボタンで希望の設定を選び、ボタンを押す。

設定が終わると手順**2**のメニュー画面に戻ります。

各設定項目の説明

お買い上げ時は、下表の●側に設定されています。

MODEスイッチの位置によって操作できる項目に違いがあります。本機の画面には、使える項目のみが表示されています。

「MOVIE」または「STILL」のとき

メニュー	項目	設定	意味
セルフタイマー		–	セルフタイマー撮影をする。（35ページ）
エフェクト		ネガアート	写真のネガフィルムのように。
		セピア	古い写真のような色合いに。
		モノトーン	白黒に。
		ソラリ	明暗を際だたせたイラストのように。
ファイル	フォーマット	実行	“ メモリースティック ”をフォーマット（初期化）する。
		キャンセル	
	ファイル番号	連番	“ メモリースティック ”を入れ換えても、番号を連続してつける。
		●標準	“ メモリースティック ”入れ換えるたびにファイル番号をリセットする。
	画像サイズ（「STILL」のとき）	●1600 × 1200	JPEG画像を1600 × 1200サイズで記録する。
		1024 × 768	JPEG画像を1024 × 768サイズで記録する。
		640 × 480	JPEG画像を640 × 480サイズで記録する。
	（「MOVIE」のとき）	●320 × 240	MPEG画像を320 × 240サイズで記録する。
		160 × 112	MPEG画像を160 × 112サイズで記録する。
	画質（「STILL」のとき）	ファイン	高画質。
		●スタンダード	標準画質。
	撮影モード（「STILL」のとき）	ボイスメモ	JPEGファイルに加えて、音声ファイル（静止画つき）を記録する。 シャッターをポンと1回押すと：5秒間音声が記録される。 シャッターを押し続けると：押し続けている間最長40秒間音声が記録される。
		Eメール	自分が選んでいる画像サイズに加えて(320 × 240)サイズのJPEGファイルを記録する。
		●通常撮影	通常の撮影をする。

メニュー	項目	設定	意味
ファイル	記録時間（「MOVIE」のとき）	15秒 10秒 ●5秒	動画を15秒間記録する。 動画を10秒間記録する。 動画を5秒間記録する。
カメラ	レンズ絞り値*	F2.8〜F8	プログラムAEのアイリス優先モード時に選択する。
	シャッタースピード*	1/8〜1/725または1/6〜1/600	プログラムAEのシャッタースピード優先モード時に選択する。
	デジタルズーム（「STILL」時のみ）	●入 切	デジタルズームにする。 デジタルズームにしない。
	フラッシュレベル（「STILL」のときのみ）	明 ●標準 暗	フラッシュの発光量を通常より多くする。 通常の設定。 フラッシュの発光量を通常より少なくする。
	EV補正	+1.5EV〜–1.5EV	画像の明るさを調節する。
設定	デモモード	●入/スタンバイ 切	デモンストレーションを始める。 デモンストレーションを表示しない。
	ビデオ出力信号	NTSC PAL	NTSC放送方式のモニターにつなぐ。 PAL放送方式のモニターにつなぐ。
	言語/LANGUAGE	ENGLISH 日本語/JPN	すべての表示を英語で表示する。 すべての表示を日本語で表示する。
	時計設定	–	時計を合わせ直すとき。
	お知らせブザー	シャッター ●入 切	シャッターボタンを押したとき、シャッター音が鳴る。 コントロールボタン／シャッターボタンを押したときなどにブザー／シャッター音が鳴る。 音は鳴らない。

* プログラムAEで「レンズ絞り値」または「シャッタースピード」を選択しているときに表示されます。

デモモードについて
コンセントにつないでSTILL、MOVIEモードで使用しているときのみ表示されます。電源を切ると中止します。

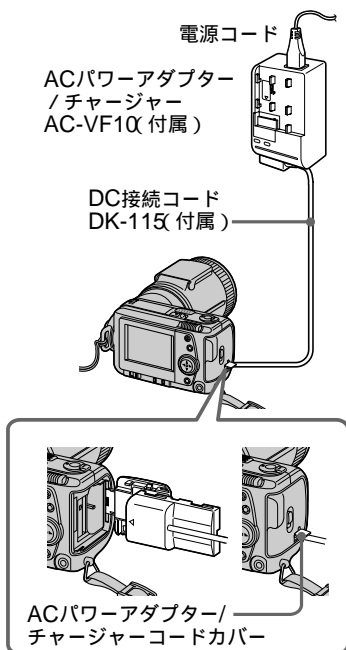
「PLAY」（シングル画面表示）のとき

メニュー	項目	設定	意味
インデックス		–	インデックス画面を表示する。（40ページ）
削除		実行 キャンセル	画像を消去する。 –

メニュー	項目	設定	意味
ファイル	フォーマット	実行 キャンセル	" メモリースティック "をフォーマット(初期化)する。 –
	回転(90°)	–	画像を右回り、左回りに回転する。
	スライドショー	間隔設定 繰り返し スタート キャンセル	スライドショーの間隔を設定する。 ● 3秒/5秒/10秒/30秒/1分 スライドショーの繰り返しを設定する。入/●切 スライドショーを実行する。 –
	コピー	実行 キャンセル	表示中の画像を他の" メモリースティック "にコピーする。 –
	プリントマーク	入 ●切	プリントしたい画像にプリントマークをつける。 プリントマークを消す。
	プロテクト	入 ●切	プロテクト指定する。 プロテクト指定しない。

「PLAY」(インデックス画面表示)のとき

メニュー	項目	設定	意味
削除		全画像 選択画像	全ての画像を消去する。 選択した画像を消去する。
ファイル	フォーマット	実行 キャンセル	" メモリースティック "をフォーマット(初期化)する。 –
	コピー	選択画像 キャンセル	選択画像を別の" メモリースティック "にコピーする。 –
	プリントマーク	全画像 選択画像 キャンセル	切:プリントマークが付いているすべての画像のマークを消す。 キャンセル:操作をやめる。 •画像にプリントマークを付ける。 •プリントマークが付いている画像のマークを消す。 –
	プロテクト	全画像 選択画像 キャンセル	入:すべての画像にプロテクトをかける。 切:すべての画像のプロテクト指定を解除する。 キャンセル:操作をやめる。 •画像にプロテクトをかける。 •画像のプロテクト指定を解除する。 –

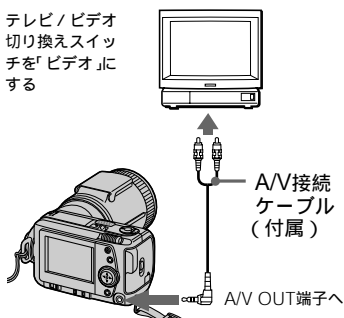
コンセントにつないで使う

1 バッテリー／" メモリースティック "カバーを開ける。

2 DC接続コード(DK-115)の一方を本体に入れ、カバーを閉める。
上の図のようにコードカバーを開き、コードをはさまないようにしてカバーを閉める。

3 DC接続コードのもう一方をACパワーアダプター／チャージャーにつなぐ。

4 電源コードの一方をACパワーアダプター／チャージャーに、もう一方をコンセントにつなぐ。

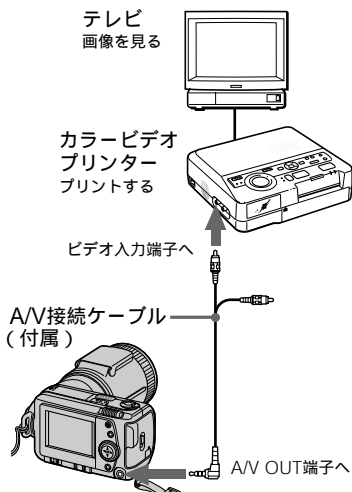
テレビで見る

ビデオ端子のあるテレビに接続できます。スライドショー再生などを見たり、マクロ撮影でのピント合わせをするときに便利です。

1 本機のA/V OUT端子とテレビのオーディオ／ビデオ入力端子を接続する。

2 本機で画像を再生する。
テレビ画面に再生画像が映ります。

ご注意
- A/V接続ケーブルをつなぐときは、本機と接続する機器の電源を切ってからA/V接続ケーブルをつなぎ、もう一度電源を入れてください。
- 本機を他の機器とつないで長時間ご使用になる場合は、コンセントにつないでお使いください。
- ビデオ端子がないアンテナ入力端子だけのテレビには接続できません。
- A/V接続ケーブルを接続しているときは、お知らせブザーは鳴りません。
また、液晶画面の表示は消えます。

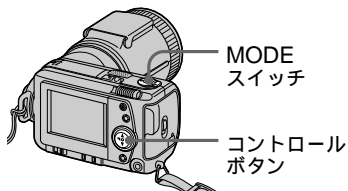
プリントする

本機で撮影した画像をビデオ端子のあるプリンターに画像を送りプリントできます。
お使いになるプリンターの取扱説明書もご覧ください。

1 本機のA/V OUT端子とプリンターのビデオ入力端子を接続する。

2 本機で画像を再生する。
テレビ画面に再生画像が映ります。

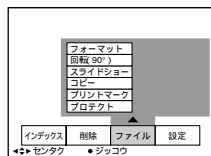
3 プリンターで画像を取り込み、プリントする。
画像の取り込みとプリントの方法については、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

プリントマークを付ける

撮影した画像の中からプリントしたい画像を直接指定することができます。後でプリントするときに便利です。
本機は印刷したい画像を選択できるDPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しています。

シングル画面表示のとき

1 MODEスイッチを「PLAY」にして、プリントマークをつける画像を表示する。

2 コントロールボタンの▲を押す。
メニューバーが出ます。

3 コントロールボタンで「ファイル」を選び、ボタンを押す。
ファイルメニューが出ます。

次のページにつづく➔

他機を接続して使う

4 コントロールボタンで「プリントマーク」を選び、ボタンを押す。

5 コントロールボタンで「入」を選び、ボタンを押す。

表示されている画像にプリントマークが付きます。

6 コントロールボタンの▼を繰り返し押す。

メニューバーが消えます。

プリントマークを付けた画像に「」が付きます。

プリントマークを消す

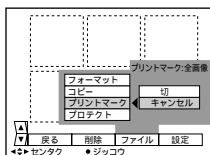
手順**5**でコントロールボタンで「切」を選び、ボタンを押す。

インデックス画面表示のとき

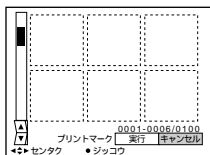
1 インデックス画面表示にする。

2 コントロールボタンで「ファイル」の「プリントマーク」を選び、ボタンを押す。

3 すべての画像のプリントマークを消すときは「全画像」を、プリントマークを付ける（または消す）画像を選ぶときは「選択画像」を選び、ボタンを押す。

「全画像」を選んだとき

すべての画像のプリントマークを消す

コントロールボタンで「切」を選び、ボタンを押す。

「選択画像」を選んだとき

プリントマークを付ける

① プリントマークを付けたい画像を選び、ボタンを押す。
「」（プリントマーク）が付きます。

② プリントマークを付けたい画像をすべて選んだら、コントロールボタンで「実行」を選び、ボタンを押す。
「」（プリントマーク）が緑色から白色に変わります。

プリントマークを消す

手順①でプリントマークを消したい画像を選び、コントロールボタンで「実行」を選び、ボタンを押す。

ご注意

- "メモリースティック"の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっているときは、プリントマークは付きません。
- 動画ファイルにプリントマークを付けることはできません。

使用上のご注意

“メモリースティック”について

- “メモリースティック”の端子部は手や金属で触れないでください。
- “メモリースティック”のラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外を貼らないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水に濡らさないでください。
- 持ち運びや保管の際は、専用のケースに入れてください。
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録・消去・フォーマットができなくなります。
- 大切なデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- 下記の場合、記録したデータが消滅（破壊）されることがあります。
  – 撮影や再生操作中にバッテリーやACパワーアダプター／チャージャーを取りはずした場合
  – データの読み込み中・書き込み中に“メモリースティック”を抜いたり、接続した機器の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 他機で作成した画像の本機での再生、本機で作成した画像の他機での再生については、保証いたしません。

置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 液晶画面を太陽に向けたままにしない
  液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。結露が起きたときは、バッテリーを取り出しバッテリーカバーを開けて、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

結露が起こりやすいのは次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするためには、本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

使用について

- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わない
  正しくご使用になれないことがあります。
- TVやAMラジオやチューナーの近くで使わない
  TVやラジオ、チューナーの雑音が入ることがあります。
- ACパワーアダプター／チャージャー（付属）を海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しない
  発熱や故障の原因となります。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをお勧めします。

レンズのお手入れ

レンズ表面のほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。汚れがひどいときは、別売りのレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

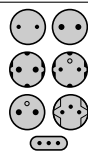
お使いにならないときは

持ち運ぶときやお使いにならないときは、電源を切っておいてください。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し半年近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていなくても、本機を使うことはできます。（日時は記録されません。）

充電方法
本機をACパワーアダプター／チャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源を切って24時間以上放置する。

海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます
付属 のACパワーアダプター／チャージャーAC-VF10は、AC100～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
再生画像をテレビで見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像入力端子付きであること、および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米、南米など	主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACパワーアダプター/チャージャーのプラグを直接差し込みます。	

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラや"メモリースティック"などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

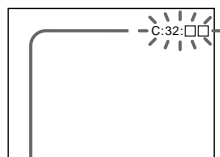
故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。**液晶画面に「C:□□:□□」のような表示が出たときは自己診断表示機能が働いています。63ページをご覧ください。**

症状	原因	処置
操作を受けつけない	バッテリーが残り少ない（表示が出る）。	バッテリーを充電する。（8ページ）
	ACパワーアダプター／チャージャーがしっかり差し込まれていない。	バッテリー取り付け部とコンセントにしっかり差し込む。（54ページ）
	内部システムの誤動作。	電源を切り、1分後にふたたび電源を入れて、正しく動作するか確認する。
撮影ができない	MODEスイッチが「MOVIE」または「STILL」になっていない。	MODEスイッチを「MOVIE」または「STILL」にする。（14、15ページ）
	すでに限度いっぱいに撮影している。	不要な画像を削除してから撮影する。（46ページ）
	"メモリースティック"が入っていない。	"メモリースティック"を入れる。（10ページ）
	"メモリースティック"の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	"メモリースティック"の誤消去スイッチを解除する。
	バッテリーが残り少ない。	バッテリーを充電する。（8ページ）
ピントがあっていない	8 cm ～ 50 cmで撮影するときに、マクロ撮影モードになっていない。	• MACROボタンを押して、マクロ撮影モードにする。（29ページ） • ズームレバーで広角（W側）にする。
ノイズが入る	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置く。
画像が暗い	逆光になっている。光量が足りない。	明るさを補正する。（31ページ） 液晶画面の明るさを調節する。（6ページ）

症状	原因	処置
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる	スミア現象という現象です。	故障ではありません。
黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えない。	ー	故障ではありません。これらの点は記録されません。
電池の消耗が速い。	バッテリーの充電が不充分。	充分に充電する。（8ページ）
	バッテリー自体が寿命。	新しいバッテリーに交換する。（10ページ）
再生ができない。	MODEスイッチが「PLAY」になっていない。	MODEスイッチを「PLAY」にする。（18、19ページ）
	"メモリースティック"が入っていない。または、"メモリースティック"に画像ファイルが入っていない。	画像ファイルの入っている"メモリースティック"を入れる。（10ページ）
	バッテリーが消耗している。	バッテリーを充電する。（8ページ）
画像が削除できない。	プロテクト指定がされている。	プロテクト指定を解除する。（44ページ）
	"メモリースティック"の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	"メモリースティック"の誤消去防止スイッチを解除する。（11ページ）
USB接続ができない。（別売のDSKIT-US5をご使用のとき）	本機の電源が入っていない。	電源を入れる。
	バッテリーが残り少ない。	ACパワーアダプター／チャージャーを使用してください。（54ページ）
	本機に"メモリースティック"が入っていない。	"メモリースティック"を入れる。（10ページ）
	USBケーブルがしっかり差し込まれていない。	一度パソコンと本機からケーブルを抜いて、しっかりと差し込み、「PC MODE USB」になっていることを確認する。（22ページ）
	パソコンのUSB端子に本機の他に機器が接続されている。	キーボード／マウス以外は取り外してみてください。（22ページ）

自己診断表示
−アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに液晶画面にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、異常の内容がわかるようになっています。
詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。
表示の末尾2桁(□□)の数字は、本機の状態によって変わります。

自己診断表示

- 「C:□□:□□」:
  お客様自身で正常な状態に戻せる内容 (ただし正常に戻らない場合はデジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。)
- 「E:□□:□□」:
  デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターに相談していただく内容

表示	原因	対応のしかた
C:04:□□	NP-FS11/F10以外のバッテリーを使用している	NP-FS11/F10バッテリーをご使用ください。
C:32:□□	ハードウェアーの異常。	電源を入れ直す。
C:13:□□	• フォーマットしていない“メモリースティック”を入れた。	フォーマットする。(49ページ)
	• 本機で使えない“メモリースティック”を入れた。	“メモリースティック”を交換する。
E:61:□□ E:91:□□	お客さま自身では対応できない異常が起きている。	デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際は、サービス番号の5桁をすべてお知らせください。例:E:61:10

その他

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面には、次のような表示が出ます。下の表にしたがってチェックしてみてください。

表示	意味と対策
メモリースティックがありません	“ メモリースティック ”が入っていない。 ➔ “ メモリースティック ”を入れる。(10ページ)
システムエラー	ハードウェアに異常が発生している。 ➔ 電源を入れ直す。
メモリースティックエラー	• 本機では使えない“ メモリースティック ”が入っている。 • “ メモリースティック ”が壊れている。 ➔ 本機で使える“ メモリースティック ”を入れる。(10ページ)
フォーマットエラー	“ メモリースティック ”が正しくフォーマットされていない。 ➔ 本機でもう1度フォーマットする。(49ページ)
メモリースティックがロックされています	“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 ➔ “ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチを解除する。
メモリースティックの残量がありません	“ メモリースティック ”がいっぱいで記録できない。 ➔ 不要な画像を削除するか、新しい“ メモリースティック ”を入れてから撮影する。
ファイルエラー	ファイルが壊れている。 ➔ 壊れているファイルを消去する。(46ページ)
ファイルがプロテクトされています	画像がプロテクトされている。 ➔ 画像のプロテクトを解除する。(44ページ)
ファイルがありません	画像が記録されていない。 ➔ 撮影済みの“ メモリースティック ”を入れる。 本機では使えない“ メモリースティック ”が入っている。 ➔ 本機で使える“ メモリースティック ”を入れる。(10ページ)
インフォリチウムバッテリーを使ってください	“インフォリチウム”対応以外のバッテリーを使っている。 ➔ “ インフォリチウム ”対応のバッテリーを使う。(8ページ)
	バッテリーの残量がない。 ➔ バッテリーを充電する。(8ページ)
コピーできる容量を超えています	コピーしようとしているファイルサイズが大きすぎて本機ではコピーできない。 ➔ コピーしようとしているファイルは本機ではコピーできないのでPC等でコピーしてください。

主な仕様

システム

形式

メモリー式デジタルスチルカメラ

映像信号出力

NTSCカラー、EIA標準方式
PALカラー、CCIR標準方式

撮影素子

1/2インチCCD
(1636 × 1236)正方格子、原色フィルター、インターレース読み出し方式

レンズ

7群10枚
焦点距離 f = 7.1 ～ 35.5 mm
(f = 38～190 mm、35 mmカメラ換算)
0.5 m ～ ∞(W側)
0.08 m ～ ∞(マクロ、W側)
F2.8 ～ 3.3

測光方式

TTL測光方式

露出制御

自動

ホワイトバランス

自動、屋内、屋外、ワンプッシュ

データ圧縮方式

動画:MPEG-1
静止画:JPEG
音声(静止画付き):MPEG AUDIO (モノラル)

データ形式

静止画: 1600 × 1200、
1024 × 768、
640 × 480、
320 × 240 (Eメール)
動画: 320 × 240、
160 × 112

記憶媒体

"メモリースティック"

フラッシュ

推奨撮影距離: 0.3 m～2.5 m
直列制御自動調光方式

シャッタースピード

NTSC :1/8～1/725
PAL :1/6～1/600

液晶画面

画面サイズ

2型(横559×縦220)

使用液晶パネル

TFT(薄膜トランジスタアクティブマトリクス)駆動

総ドット数

122,980ドット

入・出力端子

A/V OUT**端子(モノラル)**

ミニジャック
映像:1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負
音声: 327 mV(47 kΩ負荷時)、
出力インピーダンス 2.2 kΩ

DIGITAL I/O**(シリアル)端子**

ミニジャック
RS-232C準拠
9.6 Kbps ～ 115.2 Kbps

DIGITAL I/O**(USB)端子**

特殊小型ジャック
USB1.0準拠

電源・その他

消費電力

バッテリーチャージャー使用時:
撮影時3.6 W、再生時3.1 W
バッテリーパックNP-FS11使用時:
撮影時3.3 W、再生時2.7 W

保存温度

－20 ℃～＋60 ℃

動作温度

0 ℃～＋40 ℃

外形寸法（最大突起部含まず）

約107.2×62.2×135.9 mm
（幅／高さ／奥行き）

本体質量

約435 g（本体のみ）
撮影時 約475 g（バッテリー、“ メモリースティック ”(4MB)、リストストラップ、レンズキャップなど含む）

付属品

A/V接続ケーブル（1）
バッテリーパックNP-FS11（1）
ACパワーアダプター／チャージャーAC-VF10（1）
接続コードDK-115（1）
電源コード（1）
レンズキャップ（1）
レンズキャップひも（1）
リストストラップ（1）
“ メモリースティック ”(4 MB)（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
安全のために（1）

ACパワーアダプター/チャージャーAC-VF10

電源

AC100–240V、50/60Hz

消費電力

13 W

定格出力

DC OUT:DC 4.2V、1.8A
バッテリー充電:DC 4.2V、1.5A

動作温度

0 ℃～＋40 ℃

保存温度

－20 ℃～＋60 ℃

外形寸法（最大突起部含まず）

約49×39×85 mm
（幅／高さ／奥行き）

質量

約120 g

バッテリーパックNP-FS11

公称電圧

DC 3.6 V

容量

4.1 Wh

種類

リチウムイオン蓄電池

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

ア行

カ行

サ行

ハ行

マ行

アルファベット順

その他

デジタルスチルカメラ

DSC-F505K

カスタマー登録のご案内

デジタルスチルカメラDSC-F505Kをお買い上げいただき、ありがとうございます。ソニーではデジタルスチルカメラをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマー登録」をお勧めしています。詳しくは同梱の「デジタルスチルカメラ カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

●カスタマー登録に関する問い合わせ
デジタルスチルカメラ カスタマー専用デスク
電話番号：03–3584–6651
受付時間：月曜～金曜　午前10時～午後6時（ただし、祝日を除く）

デジタルスチルカメラ
テクニカルインフォメーションセンター

電話ご相談サービス窓口

お客さまからの使い方や技術的なご相談と修理の受付を承ります。
製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、下記の「デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。
また修理が必要な場合は、お客さまのお宅まで指定宅配便で取りにお伺いしますので、先ずお電話をください。

●デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンター
電話番号：0564–62–4979
受付時間：月曜～金曜　午前9時～午後5時（ただし、年末、年始、祝日を除く）

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

Get on Sony Cyber@jam(**サイバージャム**)

http://www.sony.co.jp/dsc/

サイバーショットの商品情報はもちろん、サイバーショットをもっと楽しくする使い方や様々なニュースをお届けするホームページです。

Sony online

http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan